

消 防 年 報

令 和 2 年 版



【春】 フォリストパーク（軽米町）



【夏】 折爪岳のヒメボタル（九戸村）



【秋】 御所野縄文公園（一戸町）

* 令和3年度 世界文化遺産登録



【冬】 県立自然公園馬仙峡（二戸市）

令 和 3 年 刊 行



二戸地区広域行政事務組合消防本部

は し が き

この消防年報は、令和2年度中における二戸地区広域行政事務組合管内の消防業務及び消防諸般の状況を収録し、今後の消防行政運営上の参考に資するために編さんしたものであります。

また、消防事情を広く紹介し、消防行政に対する理解とご支援を賜りますとともに地域防災への指針として活用していただければ幸甚に存じます。

令和3年8月

二戸地区広域行政事務組合消防本部

目 次

◇ 概 要

1	二戸広域消防のあゆみ	1
2	二戸広域管内の概況	9
	(1) 構成市町村の人口等	10
	(2) 消防庁舎一覧表	10
3	組織	11
4	消防相互応援協定	
	(1) 消防相互応援協定に関する協定	12
	(2) 東北自動車道及び八戸自動車道消防相互応援協定	12
	(3) 八戸自動車道消防相互応援協定	12
	(4) 救急医療情報システム運用に関する確認	12
	(5) 岩手県防災ヘリコプター応援協定	12
5	歴代消防長	13
6	歴代消防署長	13
7	予防	
	(1) 防火対象物	14
	(2) 建築同意	15
	(3) 消防用設備等（特殊消防用設備等）	16
	(4) 防火対象物定期点検報告制度	17
	(5) 危険物施設	18
	(6) 自主防災組織	20
8	警防	
	(1) 消防車両の配置状況	21
	(2) 通信施設	21
	(3) 消防水利	22
9	火災	
	(1) 出火件数	23
	(2) 焼損面積及び損害額	24

(3) 死傷者	25
(4) 出火原因	25
10 救急	
(1) 出場件数及び搬送人員	26
(2) 事故種別	27
(3) 八戸自動車道の救急	29
11 救助	
(1) 出場件数及び救助人員	30
(2) 事故種別	31

◇ 資 料

<総務編>

令和2年度中の主要行事	33
職員数、研修、表彰の状況	35
消防職員の配置状況	36
階級・年齢別、在職年数別消防職員数	37
職員の資格取得状況	38

<予防編>

防火対象物の状況	39
署分署別建築同意状況	40
中高層建築物の用途別の状況	41
消防用設備等（特殊消防用設備）の設置届出状況	42
防火対象物定期点検報告制度の状況	43
危険物施設の状況	44
自主防災組織の状況	45

<警防編>

通信施設等の状況	46
消防車両等の現有状況	47
火災による損害状況・災害通報等受付件数	49
時間別・曜日別火災発生状況	50
焼損面積 300 平方メートル以上の建物火災状況（過去 10 年間）	51
焼損面積 100 アール以上の林野火災状況（過去 10 年間）	52

<救急編>

年別救急出場状況（過去 10 年間）	53
月別・曜日救急出動状況	54
年代別搬送人員状況	55
管轄する高速自動車道の概要	56
高速道における事故等の発生状況	56
高速自動車道における救急活動状況	57

<救助編>

救助年別活動状況（過去 10 年間）	58
署分署別救助活動状況	59
事故発生場所別救助状況	60
署分署別救助出場人員状況	61
署分署別救助活動人員状況	62

概 要



【浄法寺漆・二戸市】

二戸市は、国産漆の約70%を生産している日本一の漆の産地です。浄法寺漆は生産量の多さだけでなく、良質な漆として知られ、世界遺産に登録されている中尊寺金色堂、日光東照宮をはじめ国宝、重要文化財などに使用されています。（二戸市観光協会 HP から抜粋）

1 二戸広域消防のあゆみ

年 月	記 事
昭和 36年 4月	福岡町消防団常備部を設置する。
40年 4月	一戸町消防団常備部を設置する。
47年 4月	二戸市制施行に伴い、福岡町消防団常備部を二戸市消防団常備部とし、消防ポンプ自動車1台、救急車1台及び司令車1台の計3台を保有する。(部長以下10名) 一戸町消防団常備部は、消防ポンプ自動車1台、救急車1台及び連絡車1台の計3台を保有する。(班長以下11名)
48年 3月	二戸市消防本部及び二戸市消防署庁舎新築工事が完了、消防ポンプ自動車2台を購入する。
4月	二戸市消防団常備部を廃止し、二戸市消防本部及び二戸市消防署を設置する。消防職員8名を増員し、消防本部2名、消防署17名、計19名で発足、さらに1名を増員し、消防職員20名となる。
5月	消防職員1名を採用する。(実員21名)
6月	事務職員を1名採用し二戸市消防本部に配属する。(実員22名)
49年 4月	岩手県農業共済組合連合会から救急車1台が寄贈され、二戸市消防署に配置する。 広域行政の一環として消防に関する事務を共同処理するため、二戸市消防本部並びに二戸市消防署及び一戸町消防団常備部を廃止し、新たに二戸市、一戸町、軽米町、浄法寺町及び九戸村の5市町村を管轄する、二戸地区広域行政事務組合消防本部を設立する。併せて職員定数条例を改正して消防機関定数を70名とし、消防本部2名、二戸消防署22名、一戸分署15名、軽米分署7名、浄法寺分署8名及び九戸分署5名、計59名で発足する。 二戸消防署に消防ポンプ自動車2台、救急車1台、司令車1台並びに一戸分署に消防ポンプ自動車1台、救急車1台、連絡車1台を配備する。 初代消防長に中村善兵衛氏(二戸市助役兼務)が就任する。
8月	消防職員4名を採用する。(実員63名)
10月	消防ポンプ自動車3台を購入し、軽米分署、浄法寺分署及び九戸分署に各1台を配備する。
12月	司令車、連絡車各1台を購入し、それぞれ消防本部、九戸分署に配備する。 浄法寺分署庁舎新築工事が完了する。
50年 1月	日本損害保険協会より救急車1台が寄贈され、軽米分署に配備する。 九戸分署庁舎新築工事が完了する。
3月	消防職員1名を採用する。(実員64名) 軽米分署車庫新築工事が完了する。
4月	第2代消防長に久保田喜一郎氏(二戸市派遣)が就任する。 職員定数条例を改正して消防機関定数79名とし、消防職員11名を採用する。(実員75名)

年 月	記 事
昭和 50年 9月	岩手県農業共済組合連合会より救急車2台が寄贈され、浄法寺分署、九戸分署に各1台を配備する。
11月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台が寄贈され、二戸消防署に配備する。
51年 3月	連絡車1台を購入し浄法寺分署に配備する。
11月	軽米分署庁舎新築工事が完了する。
52年 5月	連絡車1台を購入し二戸消防署に配備する。
8月	岩手県農業共済組合連合会より救急車1台が寄贈され、一戸分署に更新配備する。
53年 7月	連絡車1台を購入し軽米分署に配備する。
54年 4月	二戸消防署簡易救助訓練施設が完成する。
11月	消防職員5名を採用する。(実員79名)
12月	一戸分署庁舎新築工事が完了する。
55年 11月	職員定数条例を改正して消防機関定数を81名とする。
56年 4月	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し一戸分署に配備する。
5月	職員定数条例を改正して消防機関定数を85名とし、消防職員6名を採用する。(実員83名)
9月	連絡車1台を購入し一戸分署に更新配備する。
57年 4月	日本消防協会より救急車1台が寄贈され、二戸消防署に更新配備する。
9月	消防職員1名を採用する。(実員83名)
58年 4月	消防ポンプ自動車1台を購入し一戸分署に更新配備する。
59年 4月	職員定数条例を改正して消防機関定数を88名とし、消防職員4名を採用する。(実員86名)
60年 4月	消防職員1名を採用する。(実員87名)
61年 4月	第3代消防長に佐々木新一氏(二戸市派遣)が就任する。
12月	消防職員1名を採用する。(実員88名)
62年 3月	二戸地区空中消火等補給基地が完成する。
4月	日本消防協会から救急車1台が寄贈され、一戸分署に更新配備する。
8月	職員定数条例を改正して消防機関定数を90名とし、消防職員2名を採用する。(実員89名)
10月	司令車1台を購入し消防本部に配備する。
12月	救急車1台を購入し軽米分署に更新配備する。
63年 4月	消防用短波無線電話装置基地局を設置する。
10月	職員定数条例を改正して消防機関定数を91名とし、消防職員4名を採用する。(実員91名)
平成 元年 4月	救急車1台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
	職員定数条例を改正して消防機関定数を92名とし、消防職員5名を採用する。(実員92名)

年 月	記 事
平成 元年 8 月	日本消防協会より救急車 1 台が寄贈され、九戸分署に更新配備する。
10 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し二戸消防署に更新配備する。
2 年 2 月	4 週 6 休制を実施する。
4 月	岩手県消防学校に主任消防教官として 1 名を派遣する。(平成 4 年 3 月まで)
7 月	連絡車 1 台を購入し九戸分署に更新配備する。
9 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し軽米分署に更新配備する。
10 月	日本損害保険協会より化学消防ポンプ自動車 1 台が寄贈され、二戸消防署に配備する。
12 月	4 週 8 休制(土曜閉庁)を実施する。
3 年 1 月	山之内製薬株式会社より救急車 1 台が寄贈され、二戸消防署に更新配備する。
3 月	二戸消防署車庫増築工事が完了する。
6 月	連絡車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
10 月	浄法寺分署車庫増築工事が完了する。
11 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し九戸分署に更新配備する。
4 年 4 月	第 4 代消防長に小川吉亮氏(二戸市派遣)が就任する。 消防職員 3 名を採用する。(実員 92 名)
8 月	連絡車 1 台を購入し軽米分署に更新配備する。
9 月	司令車 1 台を購入し消防本部に更新配備する。 二戸消防署救助訓練施設の拡張整備が完了する。
11 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し浄法寺分署に配備する。 二戸市から公用車の無償譲渡を受け、消防本部に配備する。
12 月	一戸分署倉庫新築工事が完了する。
5 年 3 月	安田生命保険相互会社から救急車 1 台が寄贈され、二戸消防署に更新配備する。
4 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 97 名とし、消防職員 5 名を採用する。 (実員 97 名)
7 月	日本防火協会から防火広報車 1 台が寄贈され、消防本部に配備する。
9 月	完全週休二日制を実施する。 連絡車 1 台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
11 月	消防職員 1 名を採用する。(実員 97 名)
6 年 4 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 104 名とし、消防職員 4 名を採用する。 (実員 100 名)
7 年 4 月	消防職員 3 名を採用する。(実員 102 名)
11 月	救急業務の高度化推進に伴い、1 名が救急救命士免許を取得する。
8 年 1 月	消防ポンプ自動車 1 台を購入し二戸消防署に更新配備する。
3 月	屈折はしご付消防自動車 1 台を購入し消防本部に配備する。
4 月	消防職員 4 名を採用する。(実員 104 名)

年 月	記 事
平成 8 年 8 月	岩手県防災航空隊発足に伴い、職員 1 名を同隊に派遣する。（平成 11 年 3 月まで）
1 1 月	消防本部の組織改編を実施し、2 課 4 係体制とする。
1 2 月	救急車 2 台を購入し、軽米分署、九戸分署に各 1 台を更新配備する。
9 年 4 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 115 名とし、消防職員 3 名を採用する。 （実員 107 名）
5 月	救急救命士免許取得者 2 名となる。
1 2 月	救急救命士免許取得者 3 名となる。
1 0 年 1 月	第 5 代消防長に佐々木正勝氏（二戸市派遣）が就任する。
2 月	高規格救急車 1 台を購入し二戸消防署に更新配備する。
4 月	消防職員 3 名を採用する。（実員 108 名） 携帯電話からの 119 番通報受信装置の運用を開始する。
6 月	二戸地区空中消火等補給基地の一部に舗装を施工し、ポンプ操法訓練場として運用を開始する。
8 月	二戸市の緊急通報システム運用に伴う受信装置の運用を開始する。
1 1 月	救急救命士免許取得者 4 名となる。
1 1 年 2 月	救助工作車（Ⅱ型）1 台を購入し消防本部に配備する。
4 月	消防職員 4 名を採用する。（実員 110 名）
5 月	救急救命士免許取得者 5 名となる。
1 1 月	救急救命士免許取得者 6 名となる。
1 2 年 1 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
4 月	消防職員 2 名を採用する。（実員 112 名） 岩手県防災航空隊に職員 1 名を派遣する。（平成 15 年 3 月まで）
5 月	救急救命士免許取得者 7 名となる。 指揮車、連絡車各 1 台を購入し、それぞれ二戸消防署、九戸分署に更新配備する。 また、資機材搬送車 1 台を購入し消防本部に配備する。
1 3 年 1 月	消防ポンプ自動車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
7 月	二戸市から中型バス 1 台の無償譲渡を受け、消防本部に配備する。
9 月	高規格救急車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
1 1 月	救急救命士免許取得者 9 名となる。
1 4 年 4 月	消防職員 2 名を採用する。（実員 113 名）
1 1 月	救急救命士免許取得者 11 名となる。
1 2 月	高規格救急車 1 台を購入し軽米分署に更新配備する。
1 5 年 4 月	第 6 代消防長に久保田孝男氏（二戸市派遣）が就任する。 消防職員 2 名を採用する。（実員 112 名）
1 1 月	救急救命士免許取得者 12 名となる。

年 月	記 事
平成 15年 12月	高規格救急車1台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
16年 4月	消防職員3名を採用する。(実員111名) 救急救命士免許取得者13名となる。
8月	連絡車1台を購入し消防本部に更新配備する。
11月	救急救命士免許取得者14名となる。
12月	消防大学校専科教育救助科(第51期)を1名修了する。 高規格救急車1台を購入し九戸分署に更新配備する。
17年 4月	救急救命士免許取得者15名となる。
5月	救急救命士処置拡大により、気管挿管講習(未修了者対象)を開始する。
11月	救急救命士免許取得者16名となる。
12月	消防大学校専科教育予防科(第78期)を1名修了する。
18年 4月	消防職員1名を採用する。(実員110名) 救急救命士免許取得者17名となる。 岩手県防災航空隊に職員1名を派遣する。(平成21年3月まで)
8月	消防大学校専科教育火災調査科(第11期)を1名修了する。
12月	救急救命士処置拡大により、薬剤投与講習(未修了者対象)を開始する。
19年 3月	司令車1台を購入し消防本部に更新配備する。
4月	救急救命士免許取得者18名となる。
8月	消防大学校専科教育警防科(第81期)を1名修了する。
10月	連絡車1台を購入し一戸分署に更新配備する。
11月	高規格救急車1台を購入し二戸消防署に更新配備する。
20年 4月	第7代消防長に木村貢氏が就任する。 消防職員2名を採用する。(実員107名) 救急救命士免許取得者19名となる。
8月	連絡車1台を購入し軽米分署に更新配備する。
21年 4月	第8代消防長に田村利明氏が就任する。 消防本部及び消防署の組織改編を実施し、2課5係及び1署4係体制とする。 消防職員4名を採用する。(実員108名) 岩手県防災航空隊に職員1名を派遣する。(平成24年3月まで)
8月	連絡車1台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
21年 11月	平成21年度岩手県総合防災訓練が二戸市で開催される。
22年 4月	消防職員4名を採用する。(実員109名)
5月	救急救命士免許取得者20名となる。
12月	消防大学校総合教育幹部科(第23期)を1名修了する。
23年 4月	第9代消防長に山田武實氏が就任する。 消防職員6名を採用する。(実員109名)

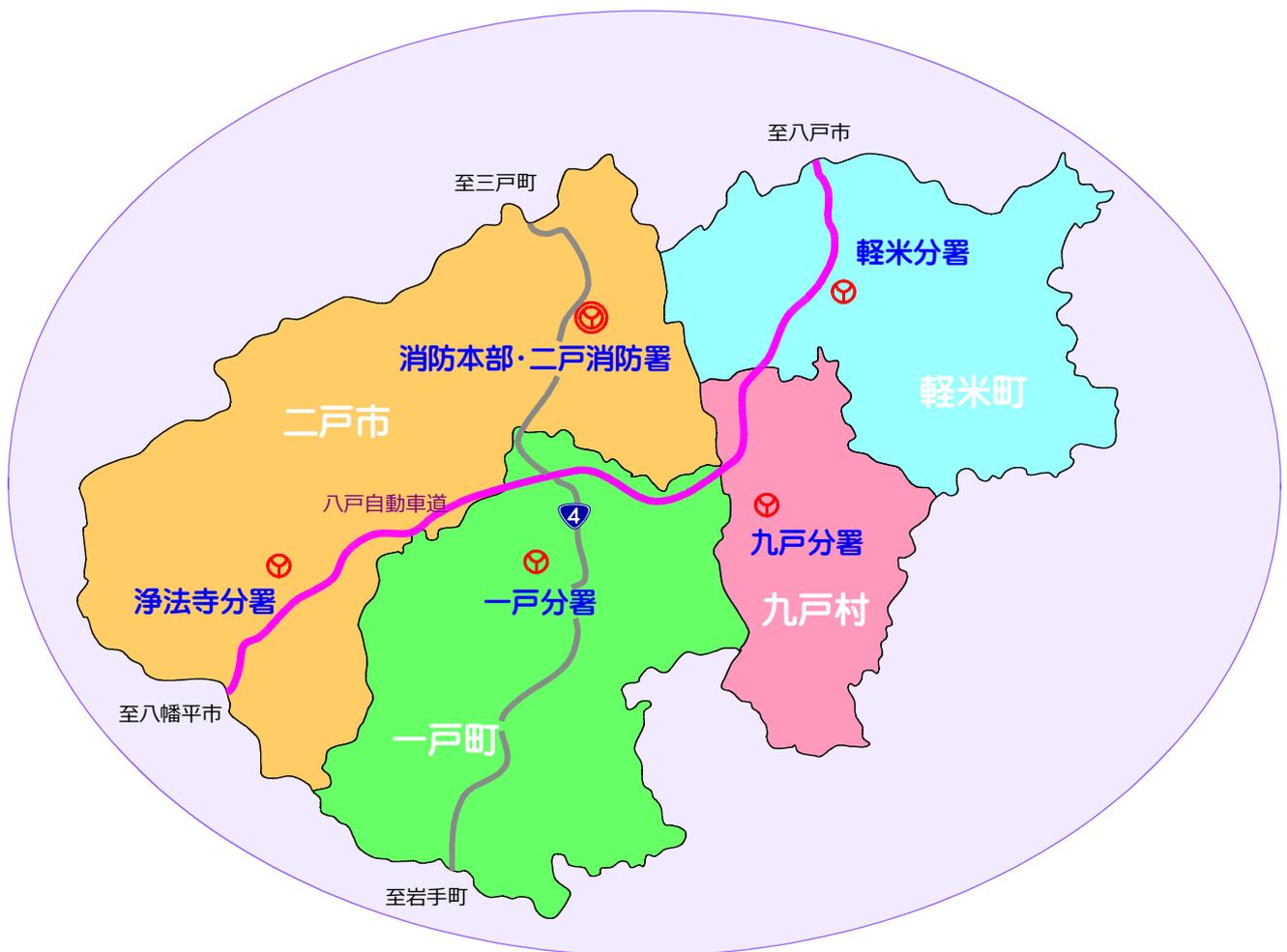
年 月	記 事
平成 23年 4月	救急救命士免許取得者 21名となる。
24年 4月	第10代消防長に目時栄氏（二戸市派遣）が就任する。 消防職員 6名を採用する。（実員 112名） 岩手県消防学校に主任消防教官として 1名を派遣する。（平成 26年 3月まで） 救急救命士免許取得者 22名となる。
12月	消防本部併設二戸消防署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。 広報車 1台を購入し消防本部に配備する。
25年 3月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し二戸消防署に更新配備する。
4月	消防職員 7名を採用する。（実員 112名） 救急救命士免許取得者 23名となる。 浄法寺分署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。
9月	救急救命士処置拡大に伴う薬剤投与講習を全救急救命士が修了する。
11月	軽米分署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。 浄法寺分署庁舎新築工事が始まる。 水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し軽米分署に更新配備する。 高規格救急車 1台を購入し一戸分署に更新配備する。
12月	消防大学校専科教育火災調査科（第26期）を 1名修了する。 救助工作車（Ⅱ型）を購入し、消防本部に更新配備する。
26年 4月	消防職員 7名を採用する。（実員 114名） 救急救命士免許取得者 24名となる。 岩手県防災航空隊に職員 1名を派遣する。（平成 29年 3月まで）
5月	浄法寺分署庁舎新築工事が完了する。
6月	消防本部併設二戸消防署庁舎新築工事及び軽米分署庁舎新築工事が始まる。 指導救命士養成研修（九州研修所）を 1名修了する。 救急救命士処置拡大 2項目講習（未修了者対象）を開始する。
8月	指導救命士養成研修（九州研修所）を 1名修了する。
9月	救急救命士処置拡大により、ビデオ喉頭鏡による気管挿管講習（未修了者対象）を開始する。
12月	消防大学校専科教育火災調査科（第28期）を 1名修了する。 消防大学校実務講習違反是正特別講習（第2回）を 1名修了する。
27年 1月	高規格救急車 1台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
2月	軽米分署庁舎新築工事が完了する。
3月	消防大学校専科教育予防科（第97期）を 1名修了する。 消防本部及び消防署の組織改編を実施し、2課 6係及び 1署 4係体制とする。
4月	消防職員 1名を採用する。（実員 114名） 救急救命士免許取得者 26名となる。

年 月	記 事
平成 27年 6月	消防大学校専科教育救助科（第71期）を1名修了する。
10月	消防本部併設二戸消防署庁舎新築工事が完了する。
	消防大学校専科教育救急科（第77期）を1名修了する。
11月	消防本部併設二戸消防署新庁舎で業務を開始する。併せて高機能指令センター並びに消防救急デジタル無線の運用を開始する。
28年 1月	株式会社オノデラサインより事務連絡車1台が寄贈され、消防本部に配備する。
2月	高規格救急車1台を購入し軽米分署に更新配備する。
3月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し九戸分署に更新配備する。
4月	消防職員8名を採用する。（実員115名）
	救急救命士免許取得者28名となる。
10月	高規格救急車1台を購入し九戸分署に更新配備する。
12月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
29年 4月	消防職員2名を採用する。（実員115名）
	救急救命士免許取得者29名となる。
9月	救急救命士処置拡大2項目講習を全救急救命士が修了する。
10月	高規格救急車1台を購入し二戸消防署に更新配備する。
11月	広報車1台を購入し九戸分署に更新配備する。
30年 3月	消防ポンプ付大型水槽車1台を購入し消防本部に配備する。
4月	第11代消防長に田中長治氏が就任する。
	消防職員2名を採用する。（実員115名）
	救急救命士免許取得者32名となる。
	岩手県防災航空隊に職員1名を派遣する。（令和3年3月まで）
5月	消防大学校実務講習自主防災組織育成コース（第14回）を1名修了する。
12月	消防大学校専科教育火災調査科（第36期）を1名修了する。
31年 2月	消防ポンプ自動車1台を購入し二戸消防署に更新配備する。
4月	消防職員1名を採用する。（実員115名）
	救急救命士免許取得者34名となる。
令和 元年 5月	消防大学校実務講習自主防災組織育成コース（第15回）を1名修了する。
6月	連絡車1台を購入し消防本部に更新配備する。
7月	救急救命士処置拡大に伴うビデオ喉頭鏡による気管挿管講習を全救急救命士が修了する。
8月	指導救命士養成研修（九州研修所）を1名修了する。
9月	広報車1台を購入し二戸消防署に更新配備する。
12月	水槽付ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し一戸分署に更新配備する。
2年 4月	第12代消防長に長興寺一弘氏が就任する。
	消防職員4名を採用する。（実員115名）

年 月	記 事
令和 2 年 4 月	救急救命士免許取得者 36 名となる。
	6 月 救急救命士処置拡大に伴う気管挿管講習を全救急救命士が修了する。
	8 月 九戸分署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。
3 年 4 月	第 13 代消防長に十文字英之が就任する。
	消防職員 4 名を採用する。(実員 115 名・うち再任用職員 1 名)
	救急救命士免許取得者 35 名となる。
	岩手県防災航空隊に職員 1 名を派遣する。(令和 6 年 3 月まで)
5 月	九戸分署庁舎新築工事が始まる。

2 二戸広域管内の概況

当広域圏は、北に青森県と接している岩手県の最北部に位置しており、平成18年1月の市町村合併を経て、現在は二戸市、軽米町、一戸町及び九戸村の1市2町1村で構成され、1本部1署4分署を配置しています。



(1) 構成市町村の人口等

令和3年4月1日現在

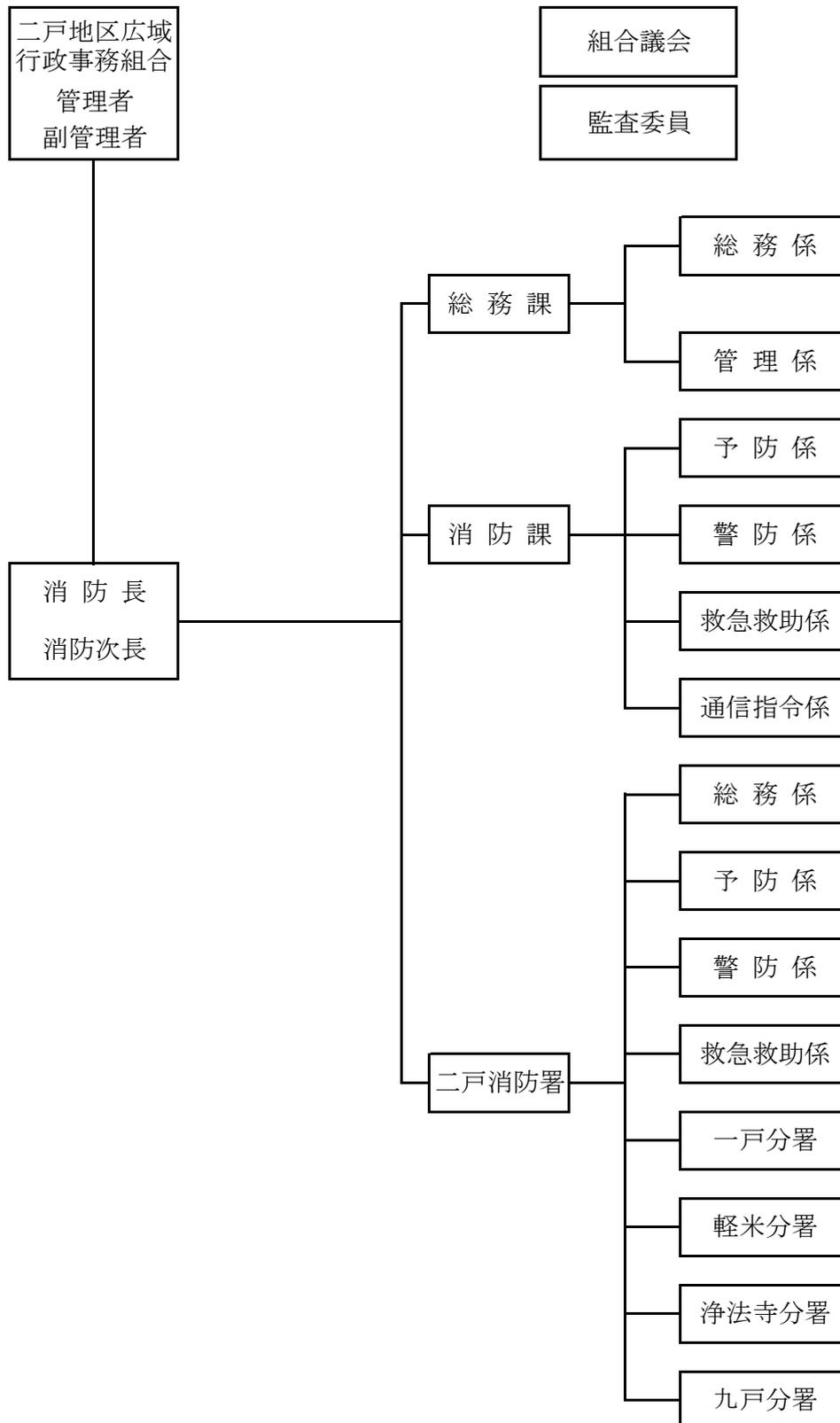
区分 市町村名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	人口密度 (人口/面積)
計	51,744	23,261	1,100.29	47.03
二戸市	25,910	11,822	420.42	61.63
一戸町	11,612	5,506	300.03	38.70
軽米町	8,671	3,751	245.82	35.27
九戸村	5,551	2,182	134.02	41.42

(2) 消防庁舎一覧表

区分	所在地	構造・階数	敷地面積	建築面積	竣工年月
				延面積	
消防本部 二戸消防署	〒028-5711 二戸市金田一字上田面300番地2 TEL 0195-26-8111	R C 造 2 階 建	9,211.470m ²	1,508.48m ²	H27. 7新築
				2,402.48m ²	
一戸分署	〒028-5301 一戸町西法寺字関屋157番地1 TEL 0195-33-3119	R C 造 2 階 建	1,730.085m ²	359.47m ²	S54.11新築
				662.66m ²	
軽米分署	〒028-6302 軽米町大字軽米第3地割74番地1 TEL 0195-46-4119	R C 造 1 階 建	1,773.700m ²	542.09m ²	H27. 3新築
				502.12m ²	
浄法寺分署	〒028-6854 二戸市浄法寺町下前田28番地2 TEL 0195-38-4119	鉄 骨 造 2 階 建	522.668m ²	331.65m ²	H26. 5新築
				494.98m ²	
九戸分署	〒028-6502 九戸村大字伊保内第10地割11番地6 TEL 0195-42-3119	R C 造 2 階 建	994.530m ²	162.00m ²	S50. 1新築
				363.50m ²	

3 組 織

二戸地区広域行政事務組合消防本部・消防署の組織



4 消防相互応援協定

(1) 消防相互応援協定に関する協定

応援協定締結団体名	締結年月日
盛岡地区広域消防組合 奥州金ヶ崎行政事務組合 一関市消防本部 大船渡地区消防組合 遠野市消防本部 宮古地区広域行政組合 花巻市消防本部 釜石大槌地区行政事務組合 久慈広域連合 陸前高田市消防本部 北上地区消防組合 (県外) 八戸地域広域市町村圏事務組合	締結改正 締結 平成13年5月1日 全部改正 平成19年4月1日 締結 平成11年4月1日

(2) 東北自動車道及び八戸自動車道消防相互応援

応援協定締結団体名	締結年月日
盛岡地区広域消防組合 奥州金ヶ崎行政事務組合 一関市消防本部 花巻市消防本部 北上地区消防組合	締結 昭和52年11月19日 変更 昭和54年10月13日 変更 平成元年9月7日

(3) 八戸自動車道消防相互応援協定

応援協定締結団体名	締結年月日
八戸地域広域市町村圏事務組合	締結 昭和61年11月27日

(4) 救急医療情報システム運用に関する確認

確認団体名	締結年月日
八戸地域広域市町村圏事務組合 久慈広域連合	締結 平成元年12月8日

(5) 岩手県防災ヘリコプター応援協定

応援協定締結団体名	締結年月日
岩手県 岩手県県内各市町村 岩手県内各消防本部	締結 平成8年10月1日

5 歴代消防長

区分	氏名	就任	退任	備考
初代	中村 善兵衛	S49. 4. 1	S50. 3. 31	二戸市助役兼務
2代	久保田 喜一郎	S50. 4. 1	S61. 3. 31	二戸市派遣
3代	佐々木 新一	S61. 4. 1	H 4. 3. 31	〃
4代	小川 吉亮	H 4. 4. 1	H 9. 12. 31	〃
5代	佐々木 正勝	H10. 4. 1	H15. 3. 31	〃
6代	久保田 孝男	H15. 4. 1	H20. 3. 31	〃
7代	木村 貢	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
8代	田村 利明	H21. 4. 1	H23. 3. 31	
9代	山田 武實	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
10代	目時 栄	H24. 4. 1	H30. 3. 31	二戸市派遣
11代	田中 長治	H30. 4. 1	R 2. 3. 31	
12代	長興寺 一弘	R 2. 4. 1	R 3. 3. 31	
13代	十文字 英之	R 3. 4. 1	在職中	

※ 昭和49年4月 二戸地区広域行政事務組合消防本部発足

6 歴代消防署長

区分	氏名	就任	退任	備考
初代	久保田 喜一郎	S49. 4. 1	S61. 3. 31	消防長兼務
2代	佐々木 新一	S61. 4. 1	S62. 3. 31	消防長兼務
3代	小川 吉亮	S62. 4. 1	H 4. 3. 31	消防次長兼務
4代	吉田 平悦	H 4. 4. 1	H 8. 3. 31	
5代	小川 吉亮	H 8. 4. 1	H 8. 10. 31	消防長、消防次長兼務
6代	東山 佐久三	H 8. 11. 1	H10. 3. 31	
7代	江六前 実	H10. 4. 1	H14. 3. 31	
8代	荒澤 作郎	H14. 4. 1	H18. 3. 31	
9代	橋本 信孝	H18. 4. 1	H19. 3. 31	
10代	田村 利明	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
11代	泉山 義夫	H20. 4. 1	H22. 3. 31	
12代	山田 武實	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
13代	中村 英明	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
14代	角田 勇吉	H24. 4. 1	H26. 3. 31	
15代	佐々木 良雄	H26. 4. 1	H28. 3. 31	
16代	横浜 貞則	H28. 4. 1	H29. 3. 31	
17代	林 健一	H29. 4. 1	R 2. 3. 31	
18代	日山 智嘉雄	R 2. 4. 1	R 3. 3. 31	
19代	横濱 勇悦	R 3. 4. 1	在職中	

※ 昭和49年4月 二戸地区広域行政事務組合 二戸消防署発足

7 予 防

(1) 防火対象物

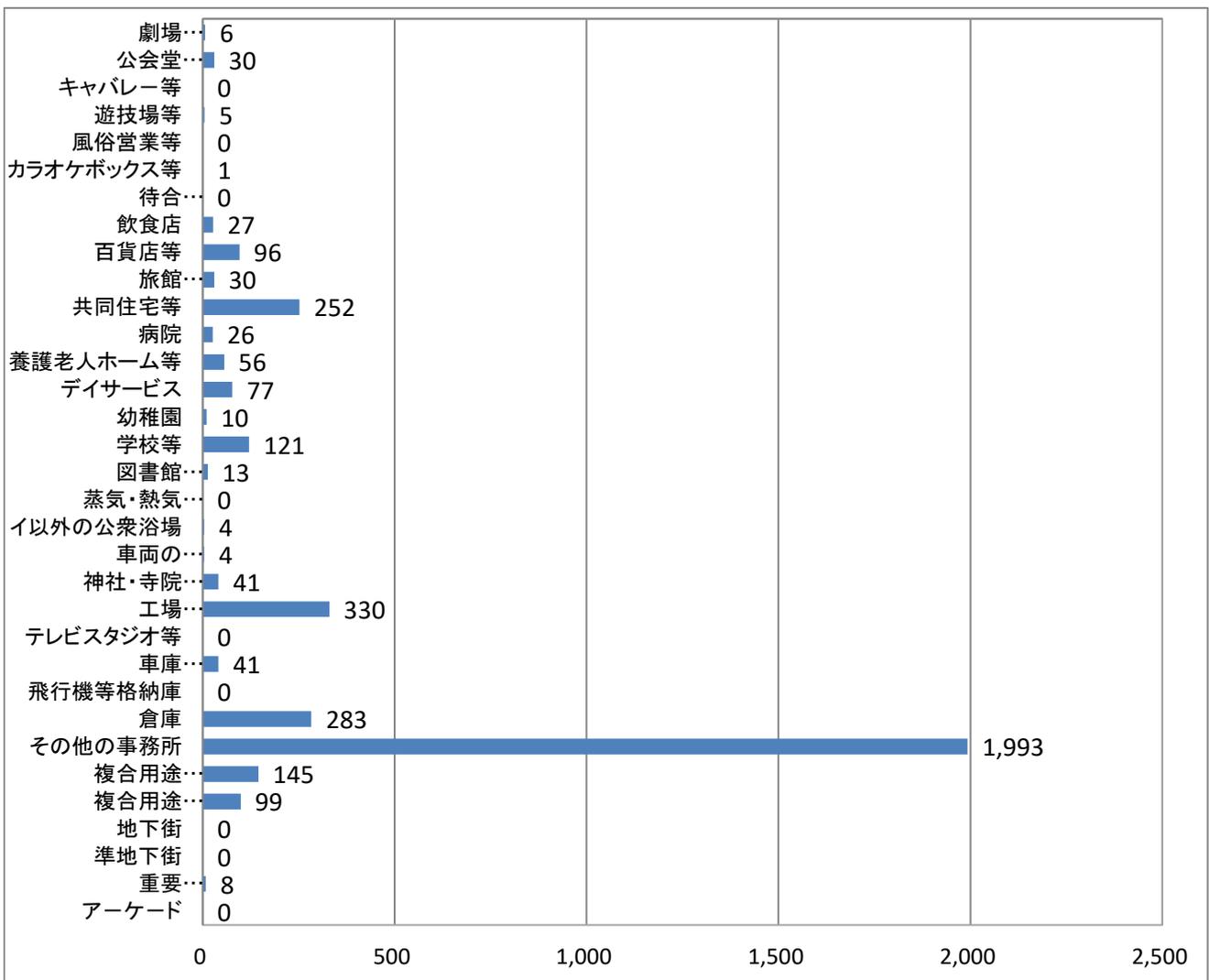
学校、病院、工場、事業場、百貨店、旅館、ホテル等の防火対象物は、3,698件であり、前年度に比べ3件の減少となっています。

市町村別の防火対象物数は、次のとおりです。

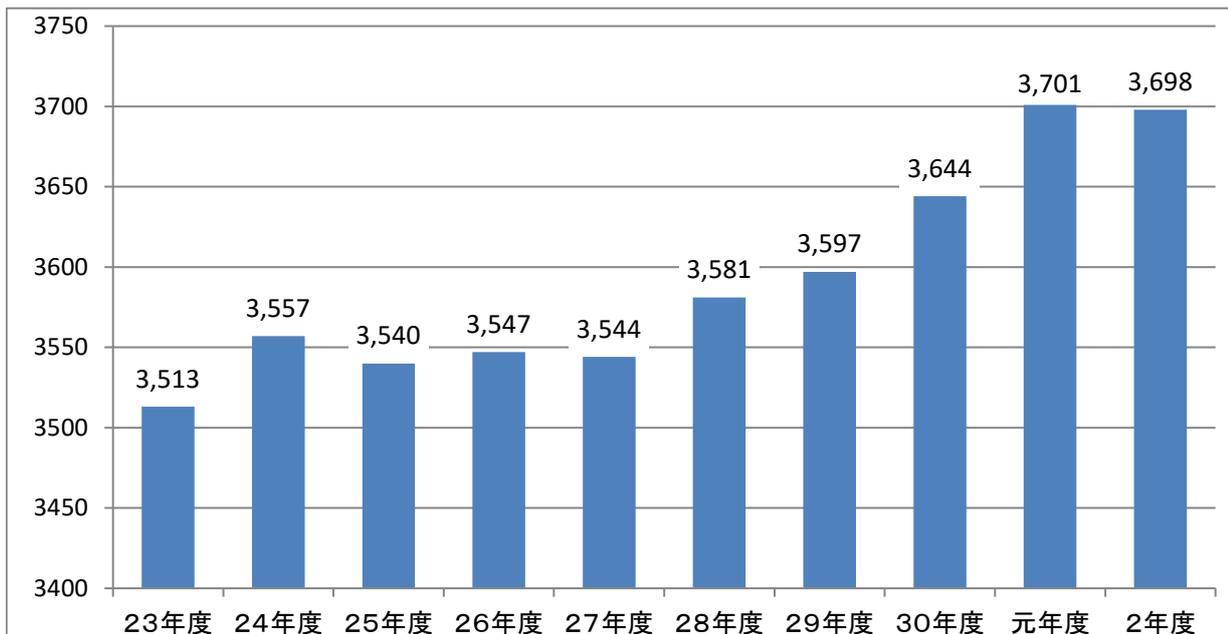
各年3月31日現在

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
2年度	1,424	824	711	739	3,698
元年度	1,417	837	708	739	3,701
増減	7	△ 13	3	0	△ 3

防火対象物の内訳は、次のとおりです。



過去10年間の防火対象物数の推移は、次のとおりです。



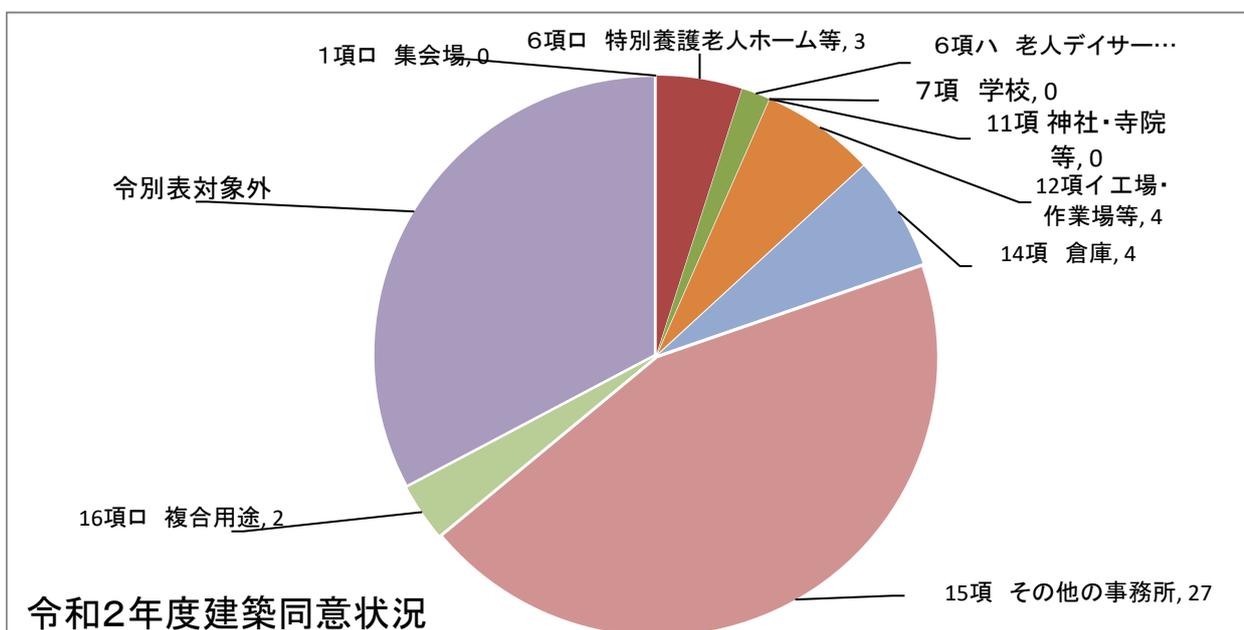
(2) 建築同意

新築、増築、改築等の建築同意件数は55件であり、前年度より25件の減少となっています。

市町村別の建築同意件数は、次のとおりです。

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
2年度	26	13	13	3	55
元年度	27	24	20	9	80
増減	△ 1	△ 11	△ 7	△ 8	△ 25

建築同意事務の状況は、次のとおりです。



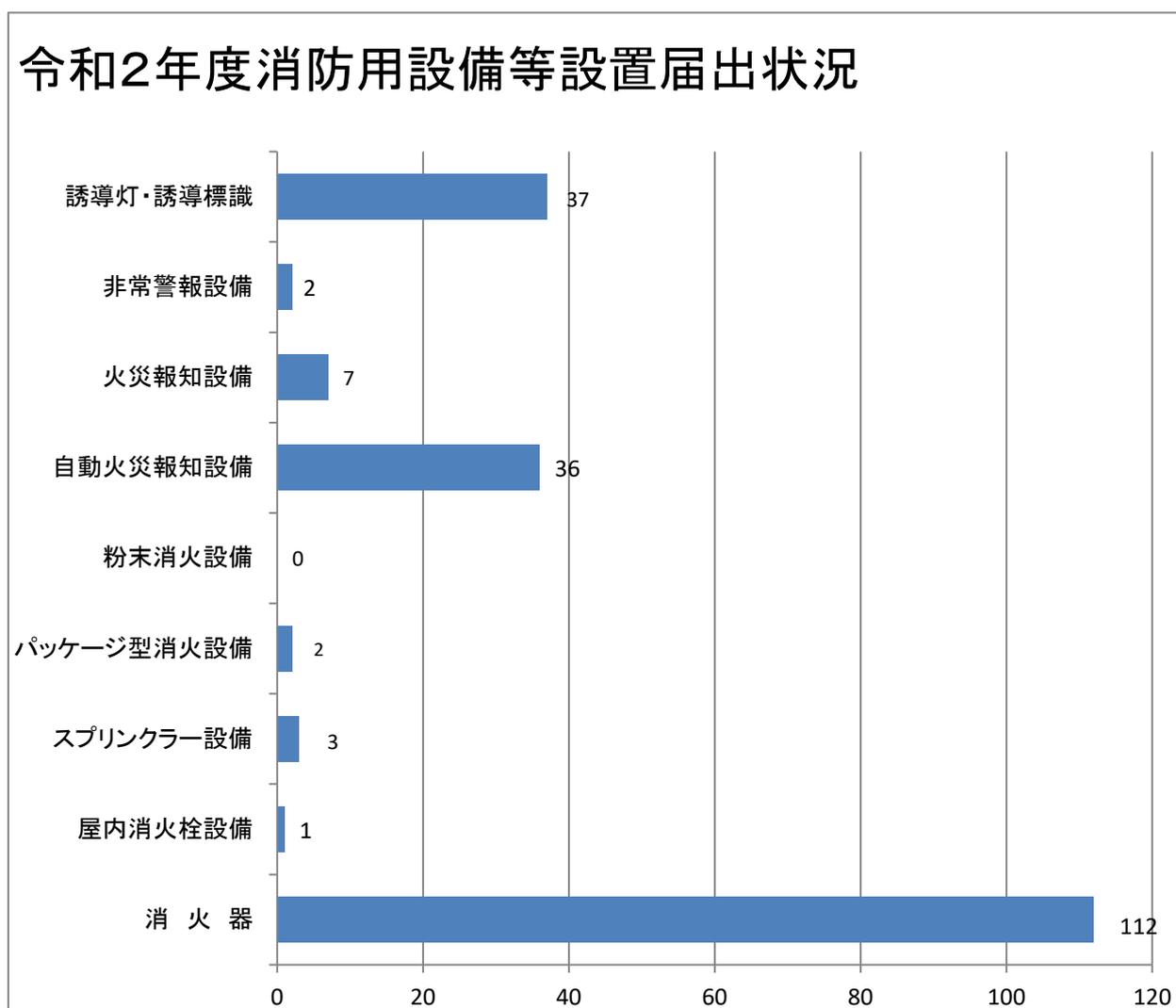
(3) 消防用設備等(特殊消防設備等)

屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備、避難器具等の消防用設備等の着工届出数は、28件であり、前年度に比べ24件減少しています。

また、設置届出は、201件であり、前年度に比べ140件減少しています。
消防用設備等別の届出数は、次のとおりです。

区 分	消防の用に供する設備						消防用水		消火活動上必要な設備		合 計	
	消火設備		警報設備		避難設備							
	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置
2年度	4	118	23	45	1	38	0	0	0	0	28	201
元年度	21	258	30	52	1	31	0	0	0	0	52	341
増 減	△ 17	△ 140	△ 7	△ 7	0	7	0	0	0	0	△ 24	△ 140

消防用設備等の設置届出の内訳は、次のとおりです。



(4) 防火対象物定期点検報告制度

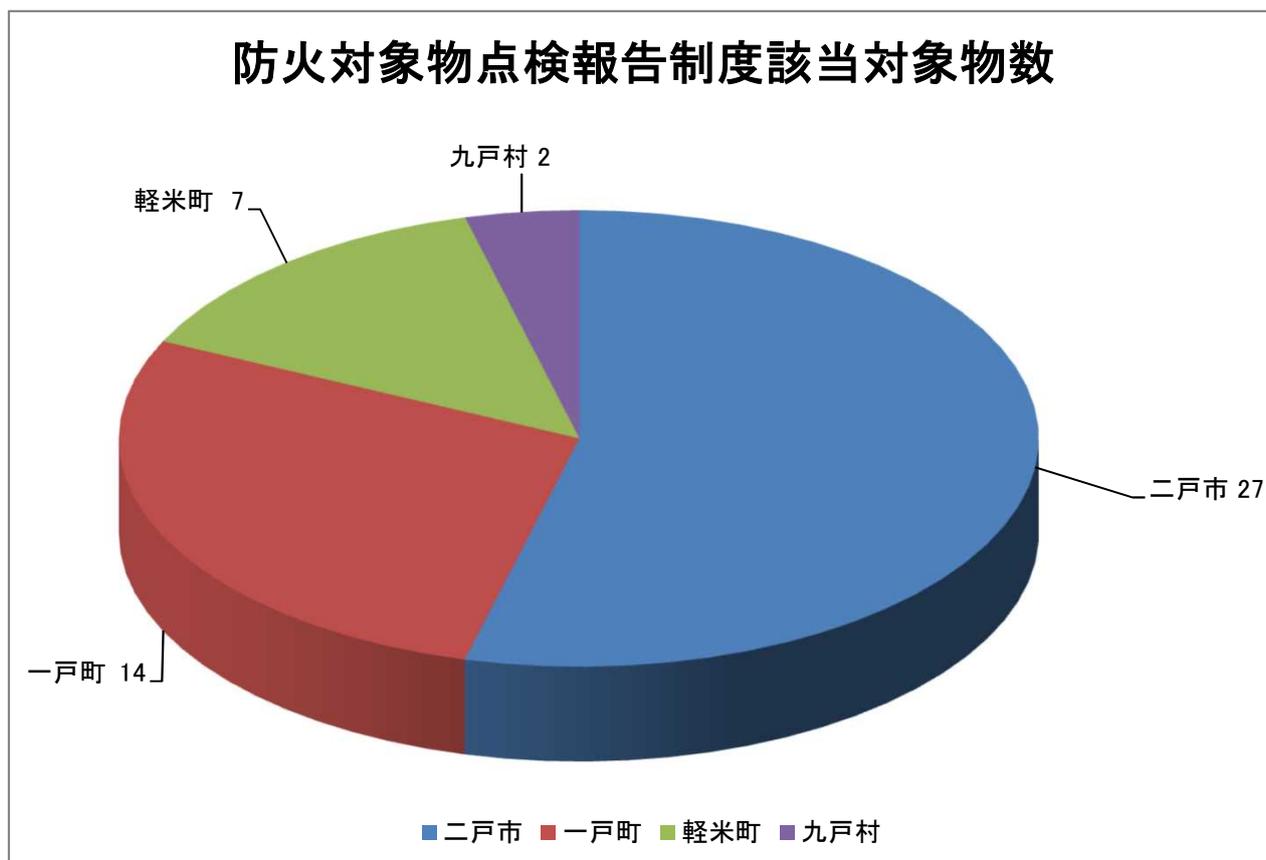
防火対象物定期点検報告制度に該当する防火対象物数は、50件であり、前年度に比べ2件減少しています。

市町村別の防火対象物点検報告制度に該当する防火対象物数は、次のとおりです。

各年3月31日現在

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村
2年度	27	14	7	2
元年度	29	14	7	2
増減	△ 2	0	0	0

防火対象物定期点検制度に該当する防火対象物数の内訳は、次のとおりです。



(5) 危険物施設

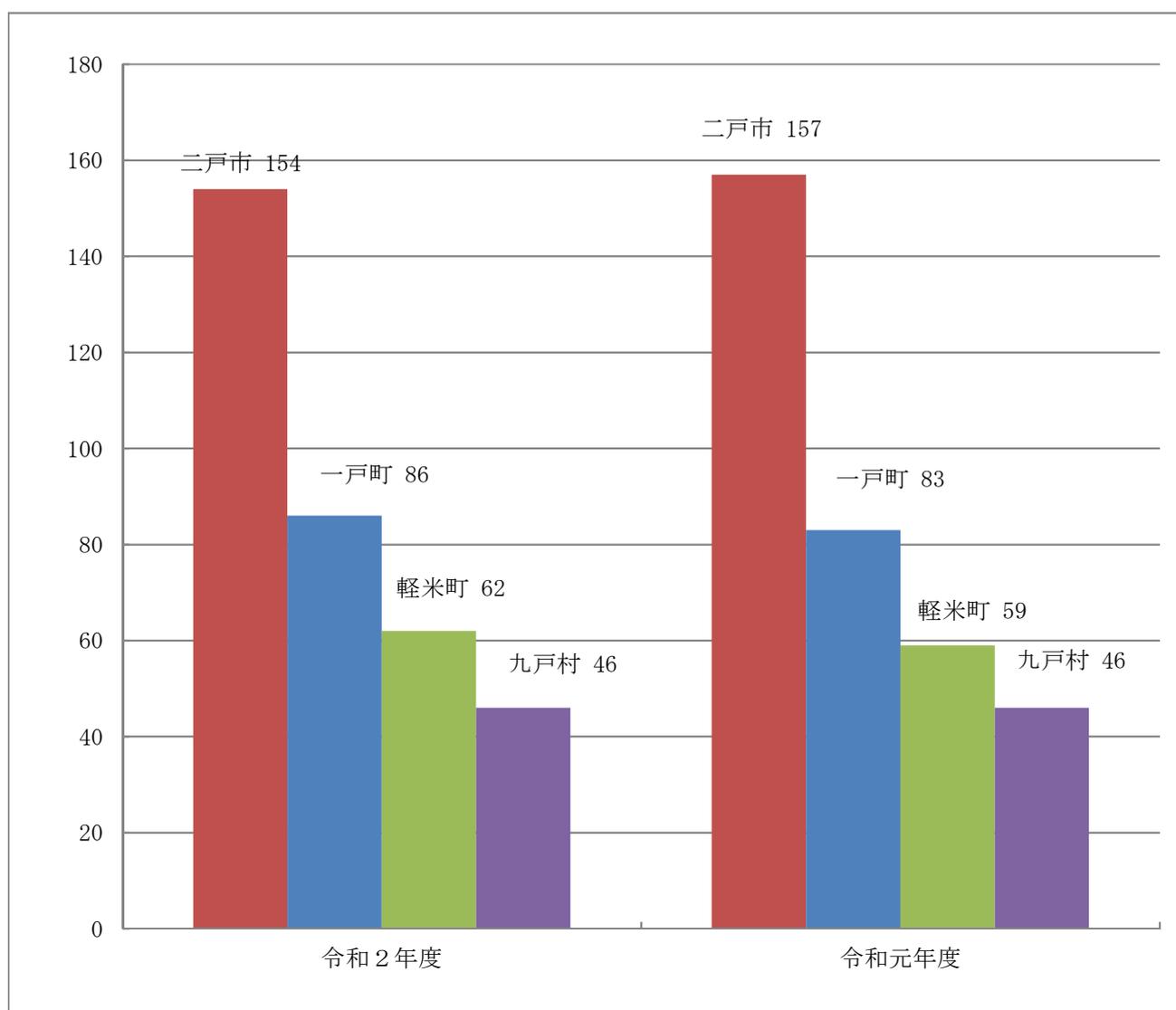
給油取扱所、地下タンク貯蔵所、移動タンク貯蔵所等の危険物施設数は348施設であり、前年度に比べて3施設増加しています。

市町村別の危険物施設数は、次のとおりです。

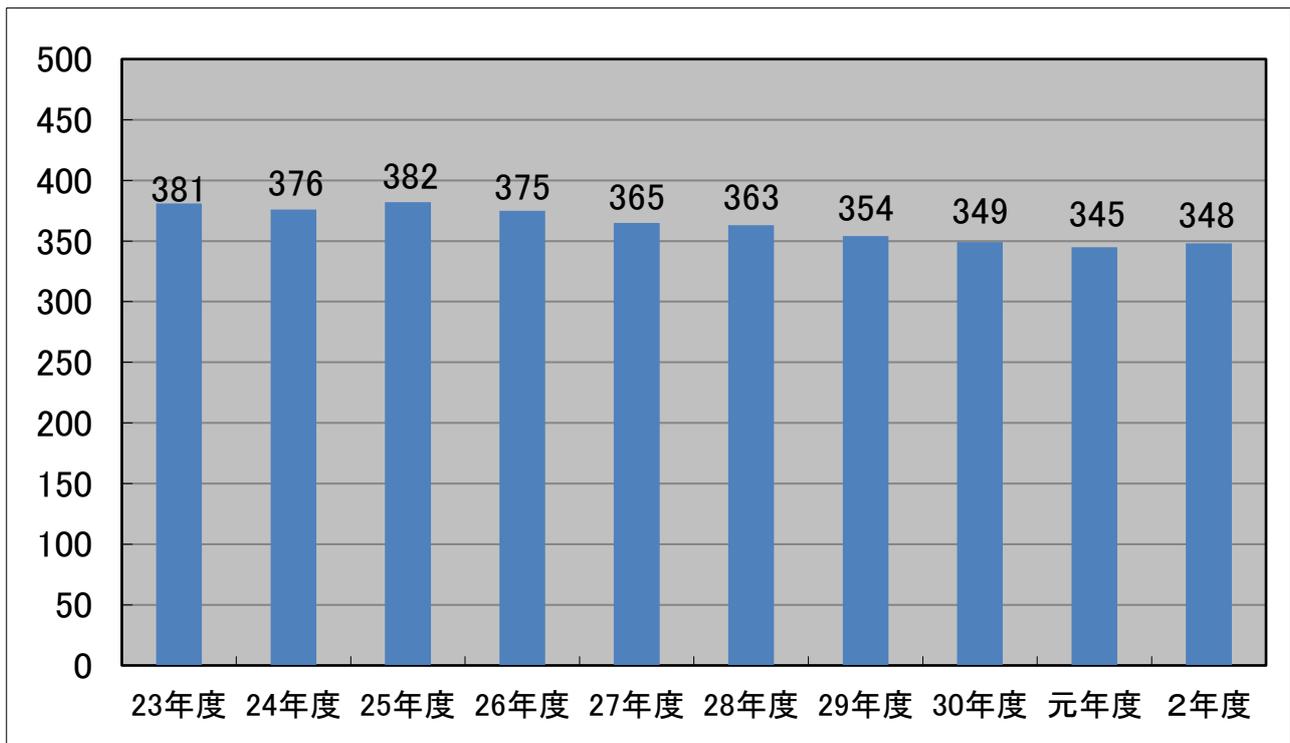
各年3月31日現在

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
令和2年度	154	86	62	46	348
令和元年度	157	83	59	46	345
増減	△ 3	3	3	0	3

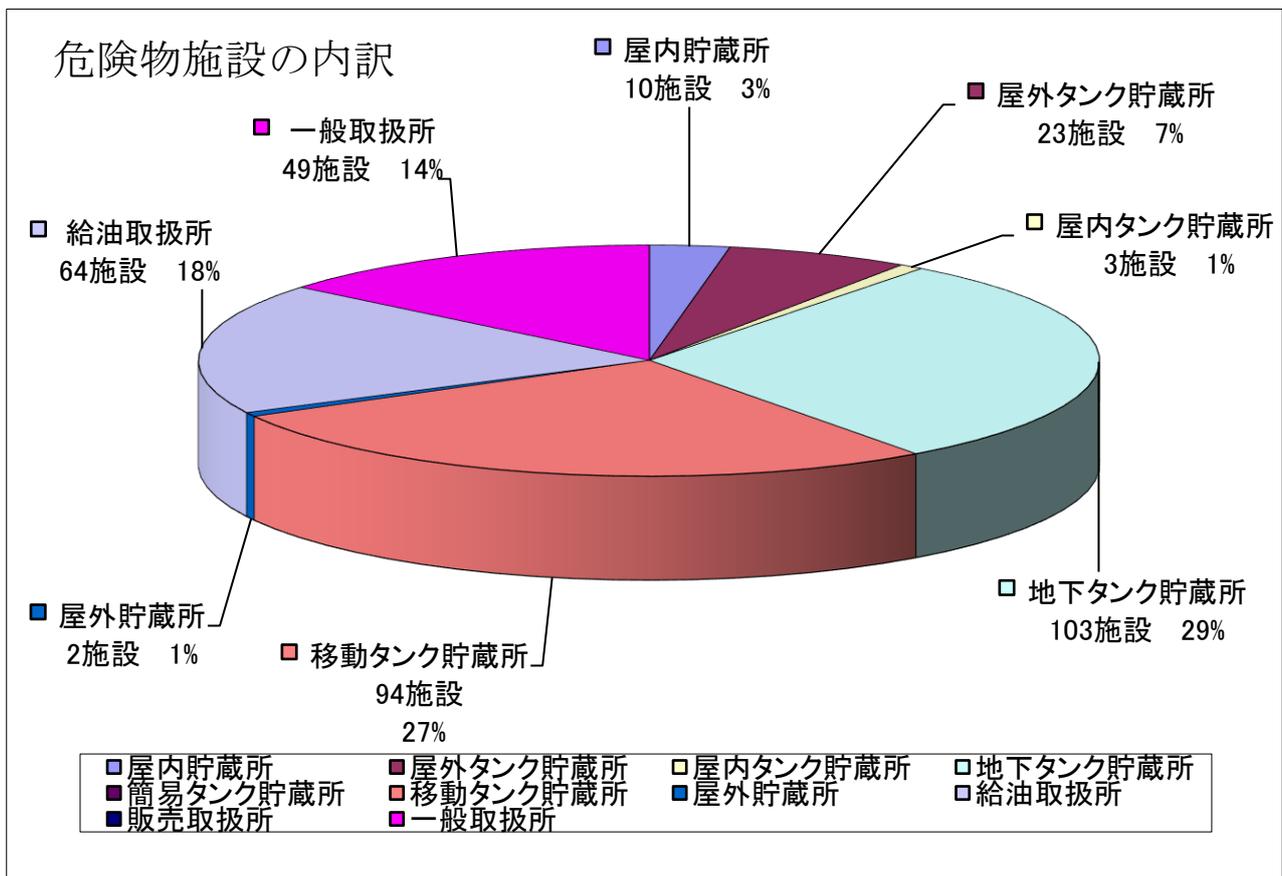
危険物施設の内訳は、次のとおりです。



過去10年間の危険物施設の推移は、次のとおりです。



令和2年度中の危険物施設の内訳は、次のとおりです。



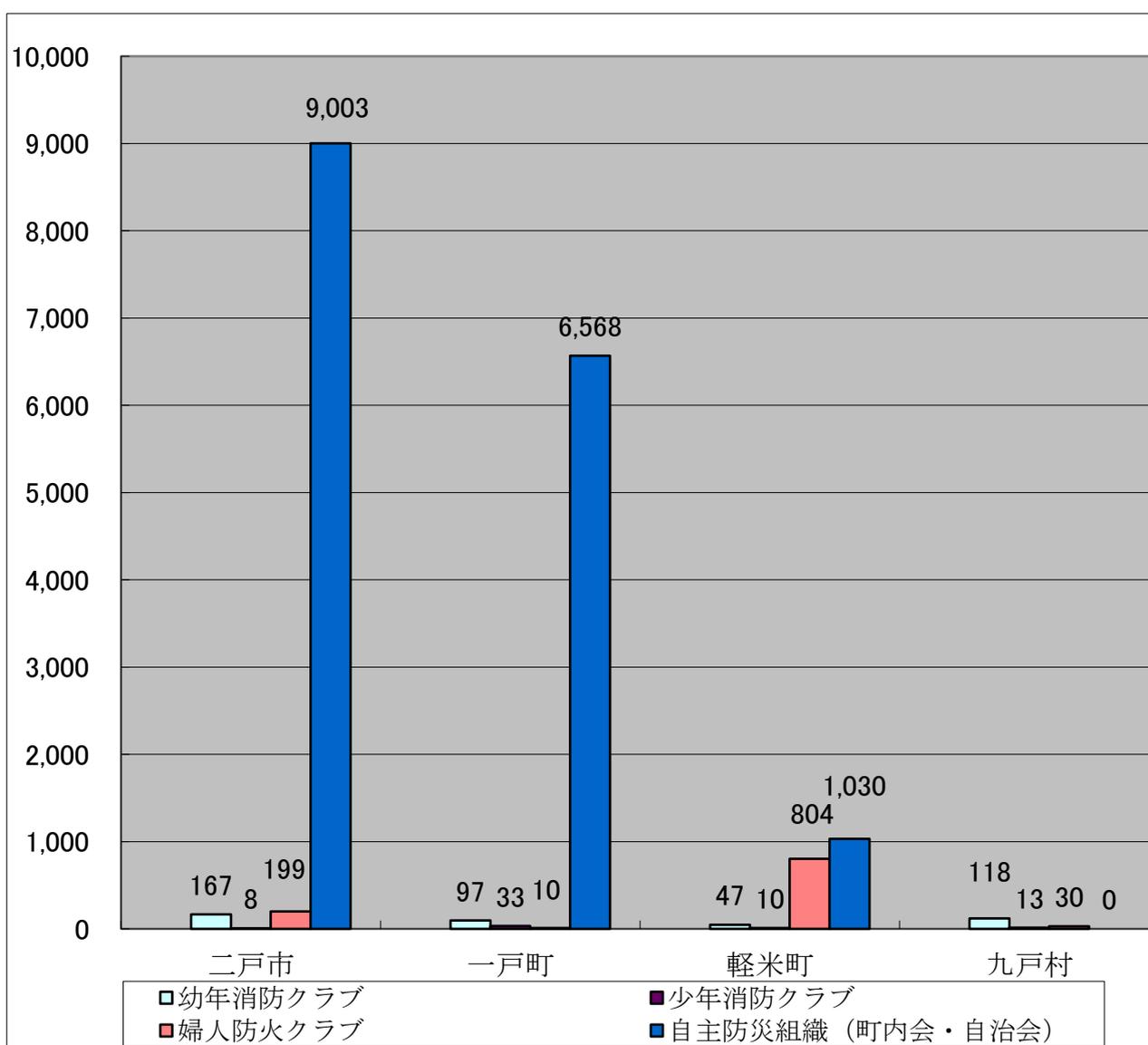
(6) 自主防災組織

防火クラブ等の自主防災組織は、107団体であり、前年度に比べ増減はありません。
市町村別の組織状況は、次のとおりです。

各年 3月31日現在

区 分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
令和2年度	45	36	19	7	107
令和元年度	45	37	18	7	107
増 減	0	△ 1	1	0	0

自主防災組織会員数の内訳は、次のとおりです。



8 警 防

(1) 消防車両の配置状況

令和3年4月1日現在

区分 所属	消防ポンプ自動車				特殊消防自動車						救急自動車			その他の消防車両			合計
	消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ付大型水槽車	小計	人員輸送車	無線中継車	屈折梯子車	救助工作車	資機材搬送車	小計	高規格救急自動車	非常用救急自動車	小計	指揮車	広報車	小計	
消防本部		1	1	2	1	1	1	1	1	5		1	1		1	1	9
二戸消防署	1	1		2					1	1	1		1	1		1	5
一戸分署	1	1		2						0	1		1		1	1	4
軽米分署		1		1						0	1		1		1	1	3
浄法寺分署		1		1						0	1		1		1	1	3
九戸分署		1		1						0	1		1		1	1	3
合計	2	6	1	9	1	1	1	1	2	6	5	1	6	1	5	6	27

(2) 通信施設

令和3年4月1日現在

総合防災情報ネットワークシステム端末装置	防災行政無線端末装置	火災・救急専用電話	衛星通信利用災害専用電話	衛星携帯電話	直通電話 東日本高速道路株式会社	消防無線電話装置					
						固定局	基地局	移動局			
								車載型	卓上型	可搬型	携帯型
1	5	6	6	15	1	2	2	29	6	7	37

(3) 消防水利

令和3年4月1日現在

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計	
基準数		605	635	277	250	1,767	
現 有 数	消 火 栓	地上式	501	396	302	187	1,386
		地下式	0	0	0	0	0
		小 計	501	396	302	187	1,386
	防 火 水 槽	40m ³ 級未満	92	27	20	143	282
		40m ³ 級	277	140	202	13	632
		100m ³ 級	4	0	2	0	6
		小 計	373	167	224	156	920
	合 計		874	563	526	343	2,306
	基準に適合する水利数		782	535	506	200	2,023
	充 足 率 (%)		129%	84%	183%	80%	114%

※防火水槽の区分
 40 m³級未満 = 20 m³以上
 40 m³級 = 40 m³以上
 100 m³級 = 100 m³以上

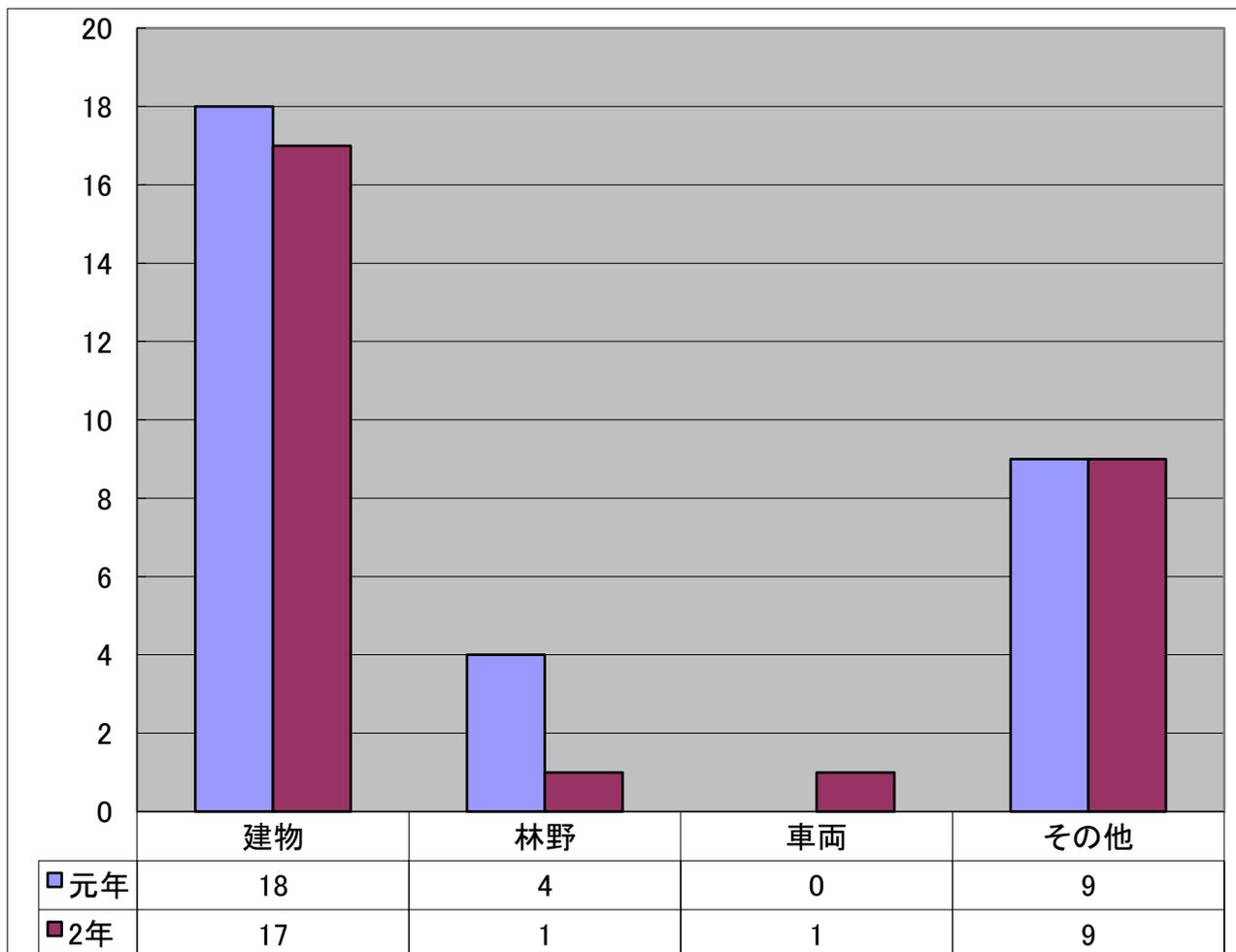
9 火 災

(1) 出火件数

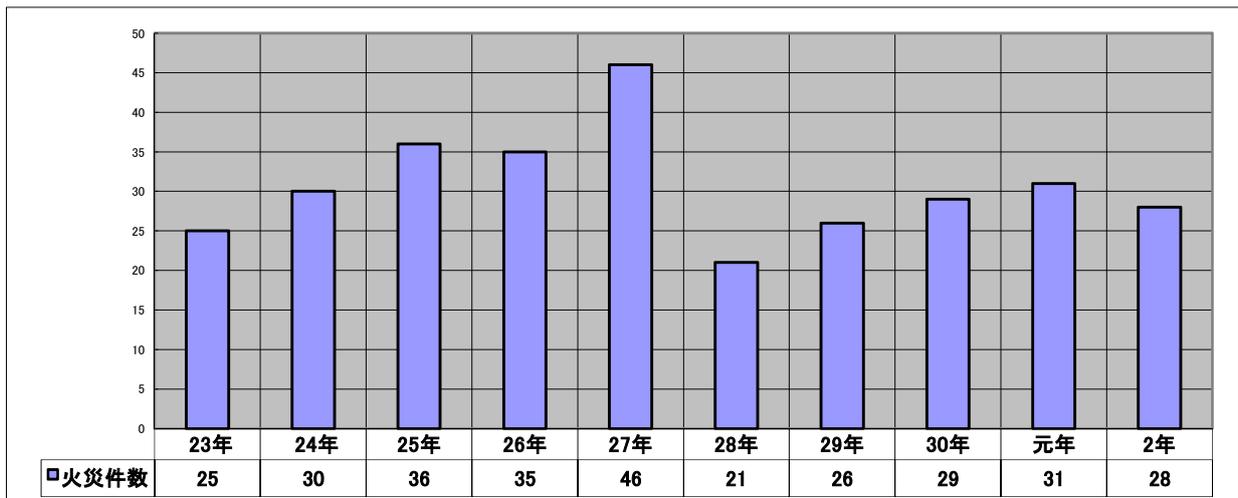
出火件数は、28件であり、前年に比べ3件減少しています。

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
出火件数	2年	11	8	3	6	28
	元年	11	7	10	3	31
	増減	0	1	△ 7	3	△ 3
出火率	2年	4.2	6.6	3.4	10.6	
	元年	4.1	6.5	3.3	10.4	
	増減	0.1	0.1	0.1	0.2	

火災の種別は、次のとおりです。



過去10年間の出火件数の推移は、次のとおりです。

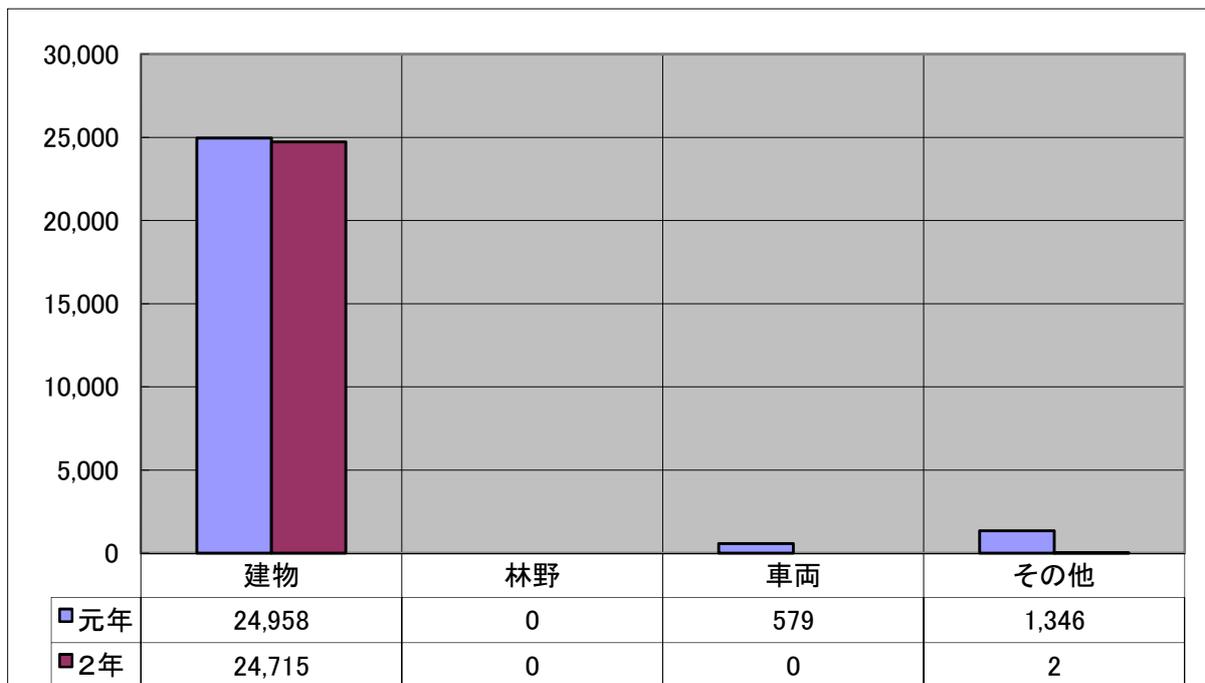


(2) 焼損面積及び損害額

建物火災の焼損面積は、1,079㎡であり、前年に比べ860㎡減少しています。
また、林野火災の焼損面積1aであり、前年に比べて86a減少しています。

区 分	焼 損 面 積	
	建物火災 (㎡)	林野火災 (a)
2年	1,079	1
元年	1,939	87
増 減	△ 860	△ 86

損害額は、24,717千円であり、前年に比べ2,166千円減少しています。



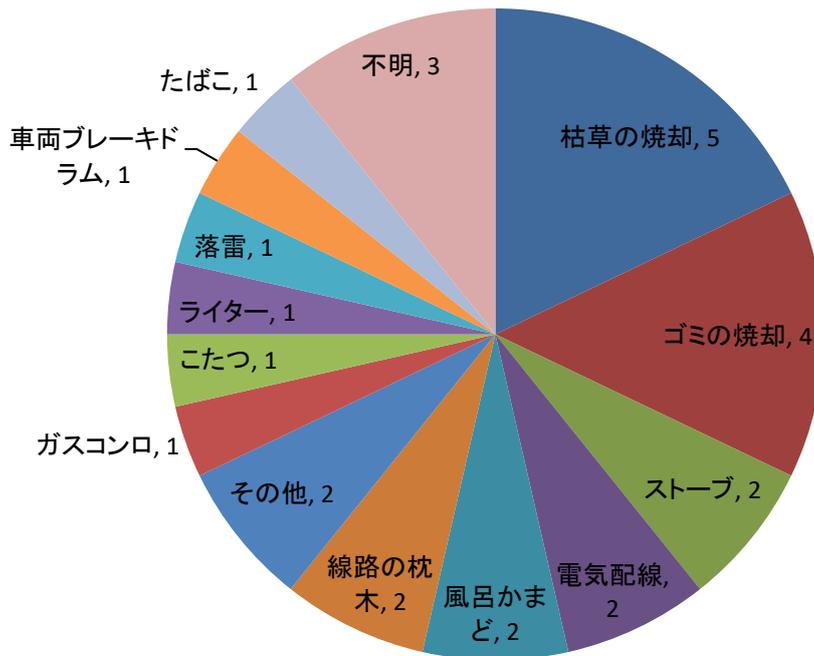
(3) 死傷者

火災による死者は、前年に比べ1人減少しています。
また、負傷者は前年に比べると6人増加しています。

区 分	死 者		負 傷 者
		うち65歳以上の高齢者	
2年	1	0	6
元年	2	2	0
増 減	△ 1	△ 2	6

(4) 出火原因

火災の出火原因は「枯草の焼却」が5件で最も多く、次いで「ゴミの焼却」、
「不明」の順となっています。
出火原因別の件数と割合は、次のとおりです。



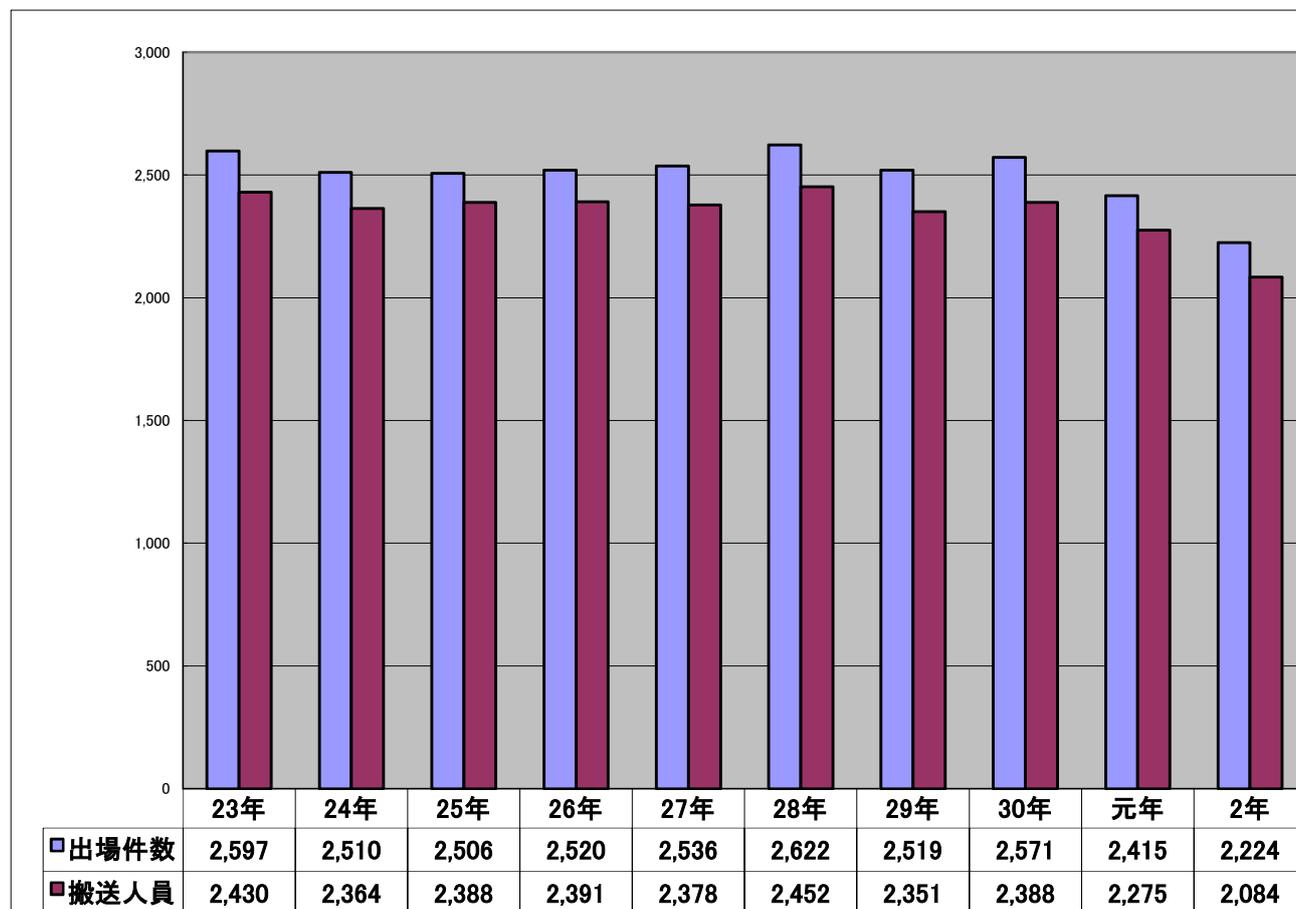
10 救 急

(1) 出場件数及び搬送人員

出場件数は2,224件であり、前年に比べ191件減少しています。
 また、搬送人員は2,084人であり、前年に比べ191人減少しています。
 市町村別の出場件数及び搬送人員は、次のとおりです。

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
出 場 件 数	2年	1,046	555	376	247	2,224
	元年	1,105	634	394	282	2,415
	増 減	△ 59	△ 79	△ 18	△ 35	△ 191
搬 送 人 員	2年	989	499	359	237	2,084
	元年	1,042	591	377	265	2,275
	増 減	△ 53	△ 92	△ 18	△ 28	△ 191

過去10年間の出動件数及び搬送人員の推移は、次のとおりです。

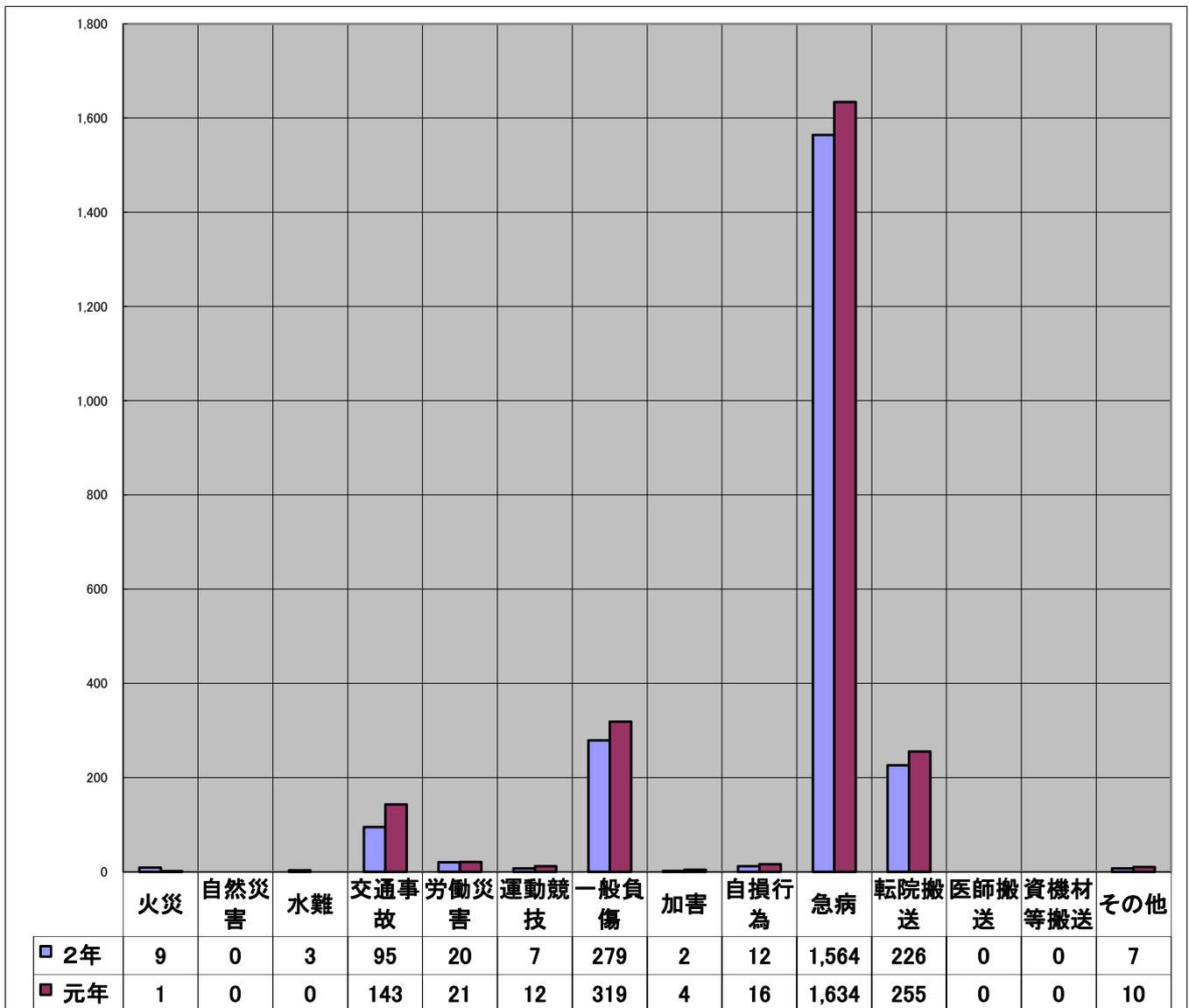


(2) 事故種別

事故種別ごとの出場件数は「急病」が1,564件で最も多く、前年に比べ70件減少しており、次いで「一般負傷」、「転院搬送」の順となっています。

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他	
2年	9	0	3	95	20	7	279	2	12	1,564	226	0	0	7	2,224
元年	1	0	0	143	21	12	319	4	16	1,634	255	0	0	10	2,415
増減	8	0	3	△ 48	△ 1	△ 5	△ 40	△ 2	△ 4	△ 70	△ 29	0	0	△ 3	△ 191

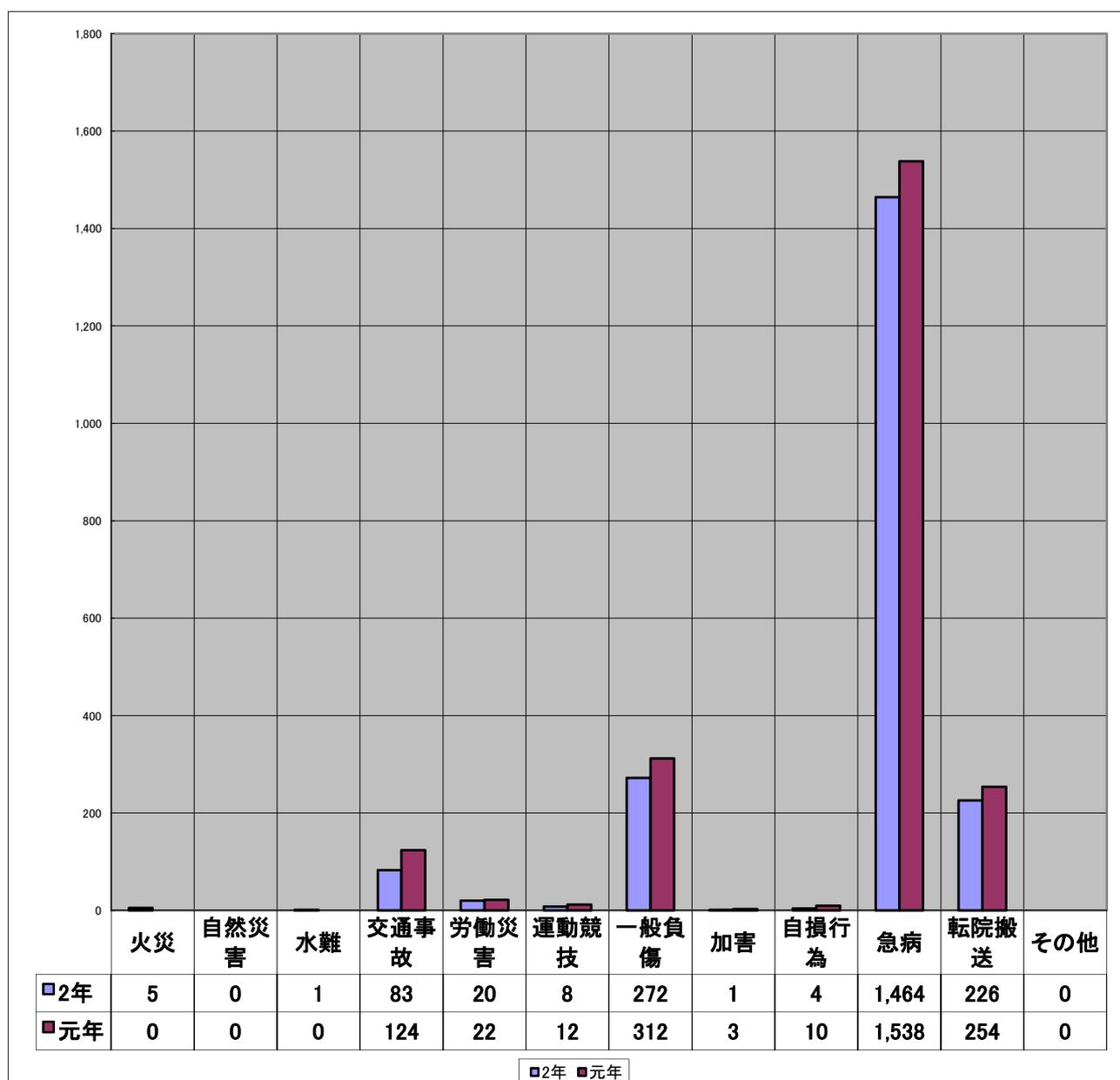
事故種別ごとの出場件数を前年と比較すると、次のとおりです。



また、事故種別ごとの搬送人員は「急病」が1,464人で最も多く、前年に比べ74人減少しており、次いで「一般負傷」、「転院搬送」の順となっています。

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		計
											転院搬送	その他	
2年	5	0	1	83	20	8	272	1	4	1,464	226	0	2,084
元年	0	0	0	124	22	12	312	3	10	1,538	254	0	2,275
増減	5	0	1	△ 41	△ 2	△ 4	△ 40	△ 2	△ 6	△ 74	△ 28	0	△ 191

事故種別ごとの搬送人員を前年と比較すると、次のとおりです。



(3) 八戸自動車道の救急

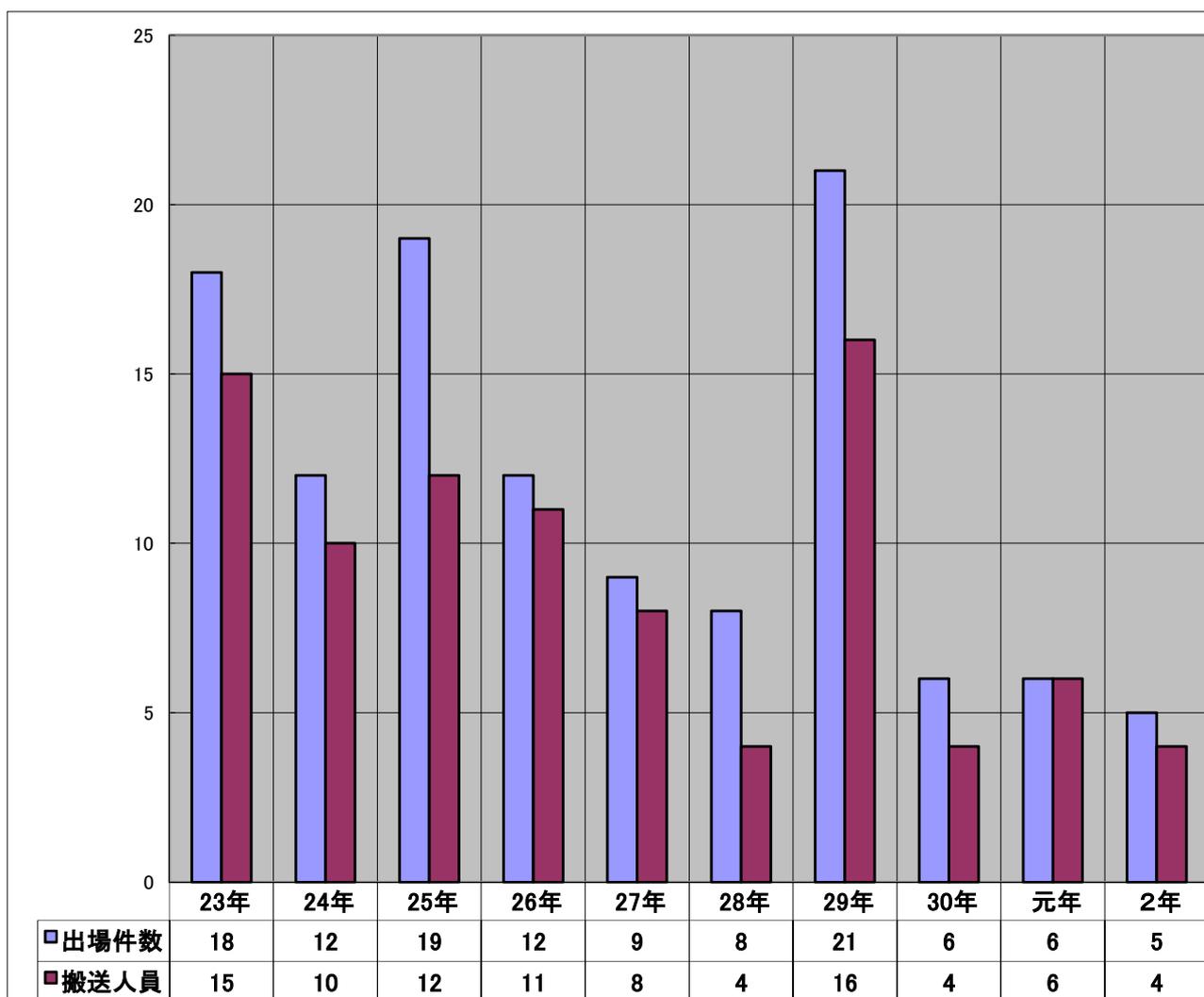
八戸自動車の救急出動件数は5件であり、前年に比べ1件減少しています。

また、搬送人員は4人であり、前年に比べ2人減少しています。

八戸自動車道の救急出場件数及び搬送人員は、次のとおりです。

区 分	出 場 件 数	搬 送 人 員
2年	5	4
元年	6	6
増 減	△ 1	△ 2

過去10年間の出動件数及び搬送人員の推移は、次のとおりです。



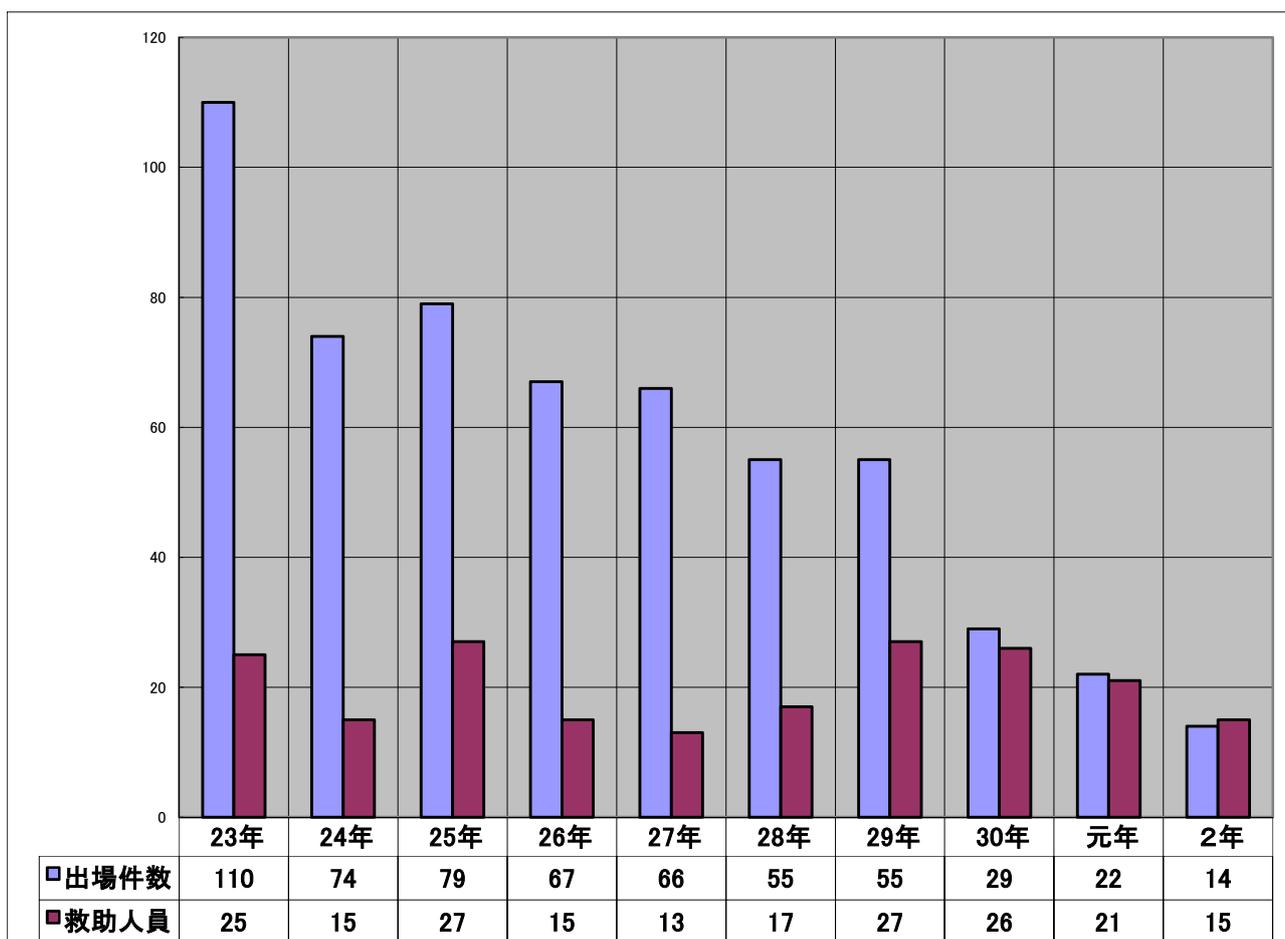
11 救 助

(1) 出場件数及び救助人員

出動件数は、14件であり、前年に比べ8件減少しました。
 また、救助人員は、15人であり、前年に比べ6人減少しました。
 市町村別の出動件数及び救助人員は、次のとおりです。

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
出動件数	2年	6	4	1	3	14
	元年	5	8	7	2	22
	増減	1	△ 4	△ 6	1	△ 8
救助人員	2年	8	3	1	3	15
	元年	5	6	7	3	21
	増減	3	△ 3	△ 6	0	△ 6

過去10年間の出動件数及び救助人員の推移は、次のとおりです。

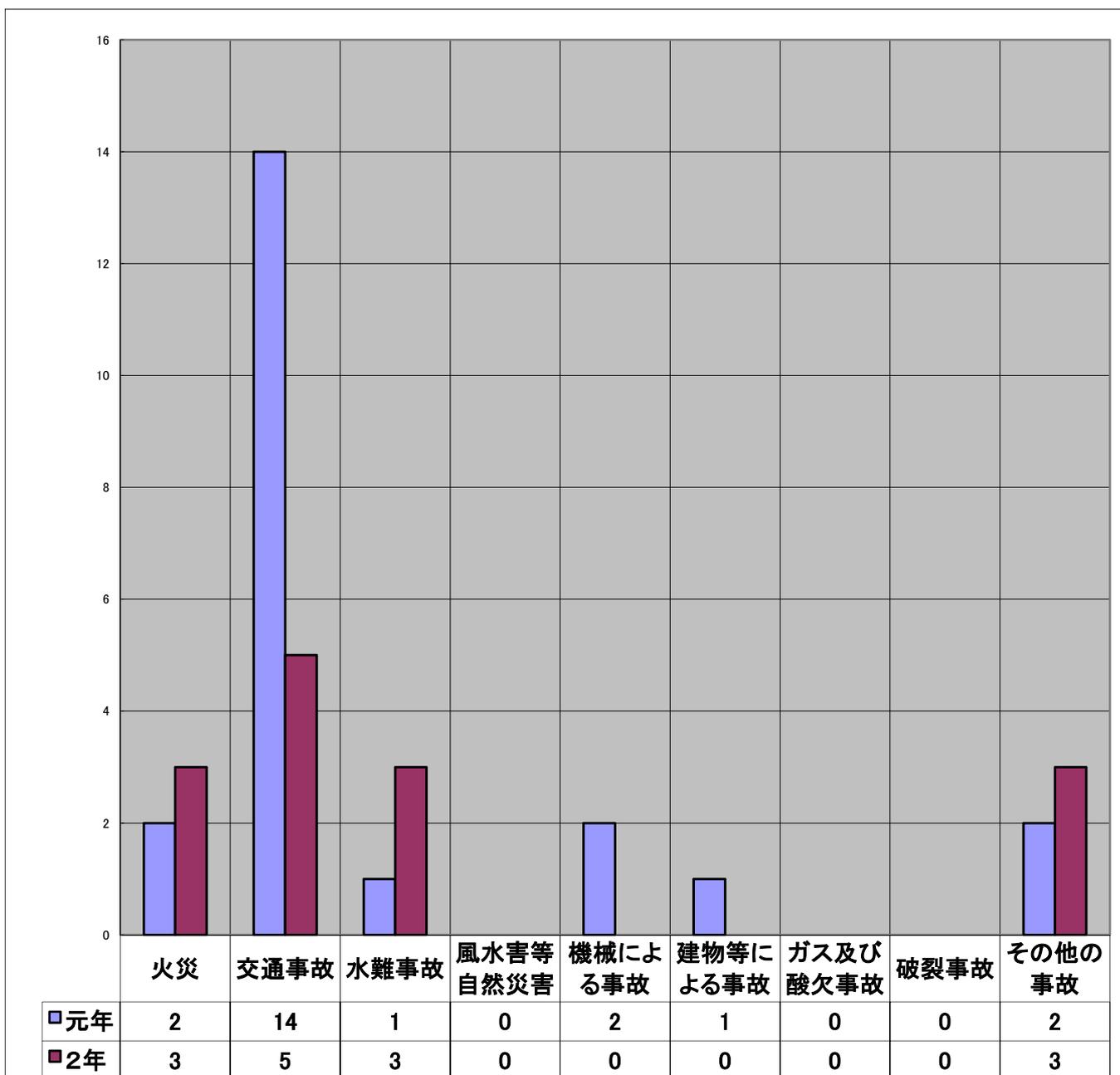


(2) 事故種別

事故種別ごとの出場件数は、「交通事故」が5件で最も多く、次いで「火災」、「水難事故」、「その他の事故」がそれぞれ3件となっている。

	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事 故	その他 の事故	計
2年	3	5	3	0	0	0	0	0	3	14
元年	2	14	1	0	2	1	0	0	2	22
増減	1	△ 9	2	0	△ 2	△ 1	0	0	1	△ 8

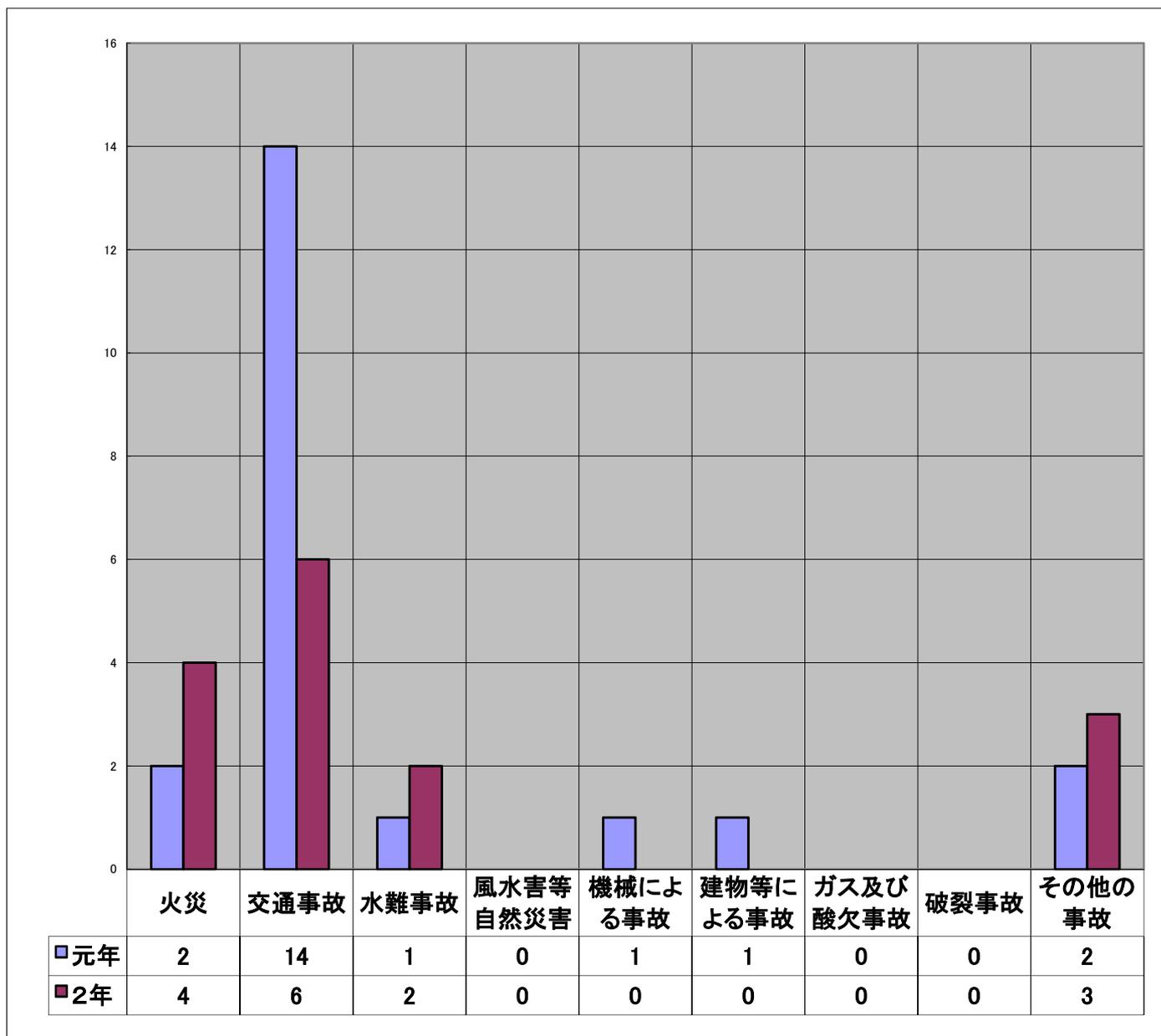
事故種別ごとの出場件数を前年と比較すると、次のとおりです。



また、事故種別ごとの救助人員は、「交通事故」が6人で最も多く、次いで「火災」、「その他の事故」の順となっています。

	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械によ る事故	建物等によ る事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故	計
2年	4	6	2	0	0	0	0	0	3	15
元年	2	14	1	0	1	1	0	0	2	21
増減	2	△ 8	1	0	△ 1	△ 1	0	0	1	△ 6

事故種別ごとの救助人員を前年と比較すると、次のとおりです。



資 料



【御所野遺跡・一戸町】

「御所野遺跡」は平成元年に調査が始まり、平成20年からは北海道・北東北3県の縄文遺跡群構成資産の一つとして行政、町民が一体となって世界遺産登録を目指して取り組んできましたが、令和3年7月27日、第44回世界遺産委員会において「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界遺産一覧表への掲載が決定しました。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、北海道、青森県、秋田県、岩手県の4道県に点在する17遺跡群で、縄文時代草創期から晩期の各時期の代表的な遺跡で構成されています。

「御所野遺跡」は縄文時代中期後半（5000年前～4200年前）の拠点集落跡で、縄文社会の移り変わりを解明するうえで非常に重要な位置づけとなっています。

< 総務編 >

令和 2 年度中の主要行事

月	日	行 事 内 容	開 催 場 所
4	1	辞令交付式	消防本部
	6	第66期消防職員初任教育入校式	岩手県消防学校
		岩手県消防協会二戸地区支部総会	消防本部
	9	岩手県消防長会4月定例会	盛岡市
	10	新型コロナウイルス感染症予防対策会議	二戸地区合同庁舎
	27	第98回全国消防長会技術委員会（書面会議）	管内全域 (事務局 二戸)
5	15	令和元年度予防技術資格者認定証交付式	消防本部
	21	第1回二戸地区広域行政事務組合議会臨時会	
	26	令和2年度二戸地区危険物安全協会理事会	消防本部
6	2	全国消防長会総会（書面会議）	
	12・15	消防救助技術消防長査閲訓練	消防本部
	24	予防事務処理署内研修	消防本部
7	1	ハラスメント撲滅推進会議	消防本部
	2・8	高所作業従事者特別教育（署内研修）	消防本部
	7	岩手県消防学校校友会理事会・役員会	岩手県消防学校
	9	第2回二戸地区広域行政事務組合議会臨時会	二戸市
	14・15	消防技術訓練	消防本部
	27	消防職員委員会	消防本部
	30	令和2年度第1回二戸地域MC協議会	消防本部
8	2	軽米町消防団日本消防協会表彰受章祝賀会	軽米町
	7	消防本部警防担当課長会議	盛岡消防本部
	21	岩手県消防長会違反是正推進連絡会	盛岡消防本部
	27	令和2年度岩手県消防長会臨時会	盛岡消防本部
	28	緊急消防援助隊岩手県大隊研修会	岩手県消防学校
9	9	消防庁長官救急功労者表彰授賞式	東京都
		全国消防長会東北支部警防実務研究会	仙台市
	11	岩手県防災ヘリコプター運用事例検証会	消防本部
	20	令和2年度消防職員第1次試験	福岡中学校
	24	岩手県消防殉職者慰霊祭	盛岡市
10	6	岩手県消防長会10月定例会	盛岡消防本部
	8	第66期消防職員初任教育卒業式	岩手県消防学校
	13	岩手県消防学校訓練計画に係る意見交換会	岩手県消防学校
	14	令和2年度CBRNE研修（オンライン研修）	消防本部
	20	コンプライアンス研修	消防本部
	25	九戸村総合防災訓練	九戸村

月	日	行 事 内 容	開 催 場 所
10	26	二戸地区広域行政事務組合議会10月定例会	二戸市
11	4	令和2年度消防職員採用第2次試験	山形市
	5	全国消防長会東北支部消防長研修会	軽米町
	10、11	警防技術実地研修	軽米町
	18、19	救助技術実地研修	消防本部
	26	全国消防技術者会議（オンライン研修）	
12	3	全国消防救助シンポジウム（オンライン研修）	消防本部
	6	予防技術検定	盛岡市
	10	NITE事故原因究明技術研修会（オンライン研修）	消防本部
	19、20	山岳救助研修（オンライン研修）	消防本部
	23	消防職員意見発表会二戸選考会	消防本部
	28	仕事納め式	消防本部
1	3	二戸市消防出初め式	二戸市
	4	仕事始め式	消防本部
	12	高所作業従事者特別教育（署内研修）	消防本部
	28	緊急消防援助隊応援時情報伝達・出動準備訓練	消防本部
		全国救急隊員シンポジウム（オンライン研修）	消防本部
	29	令和3年度第1回議会全員協議会	
2	8	第44回火災予防ポスターコンクール審査会	消防本部
	15	二戸地区広域行政事務組合議会2月定例会	
	16	岩手県消防長会2月定例会	盛岡市
		第44回岩手県消防職員意見発表会	盛岡市
	22	令和3年度救急救命士新規養成者実技訓練	消防本部
3	3	安全衛生委員会	消防本部
	8	令和2年度予防技術資格者認定証交付式	消防本部
	14	救急救命士国家試験	東京都
	22	令和2年度消防表彰等伝達式	消防本部
	30	岩手県防災航空隊派遣隊員に対する辞令交付式	消防本部
	31	退職者辞令交付式、感謝状授与式、離任式	消防本部

消 防 職 員 数

令和3年4月1日現在

定 数	職 員 数	内 訳	
115人	115人	消防吏員数	再任用職員数
		114人	1人

*職員の採用状況

令和3年4月1日付 消防吏員4人・再任用職員1人採用

令 和 2 年 度 職 員 研 修 の 状 況

	研 修 区 分	人 員		研 修 区 分	人 員
岩 手 県 消 防 学 校	初 任 教 育	4	消 防 大 学 校	警 防 科	*
	警 防 科	*		特 別 講 習 会	*
	救 助 科	2		コ ー ス 等	*
	救 急 科	1	救 急	救 急 救 命 東 京 研 修 所	2
	予 防 科			指 導 救 命 士 養 成	*
	火 災 調 査 科	2	資 格 取 得	2 級 小 型 船 舶 操 縦	1
	初 ・ 中 級 幹 部 科	3		小 型 移 動 式 ク レ ー ン 運 転	2
	上 級 幹 部 科	2		玉 掛 け 技 能 講 習	2
	各 科 特 別 聴 講	9		小 型 車 両 系 建 設 機 械	2

*新型コロナウイルス感染拡大に伴い未実施となったもの。

令 和 2 年 度 消 防 表 彰 の 状 況

表 彰 区 分	受 章 者 数	
消 防 庁 長 官	永 年 勤 続 功 労 章	1
	救 急 功 労 者 表 彰	1
全 国 消 防 長 会	消 防 特 別 功 労 表 彰	1
全 国 消 防 長 会 東 北 支 部	永 年 勤 続 功 労 者 表 彰 (2 0 年)	1
(公財) 岩 手 県 消 防 協 会	功 労 章	0
	功 績 章	2
	内 助 功 労 章	1
(公財) 日 本 消 防 協 会	勤 続 章 (3 0 年)	1
(一財) 全 国 消 防 協 会	全 国 優 良 消 防 職 員 表 彰	0
岩 手 県 知 事	功 績 章	3
組 合 管 理 者	功 労 章	0

消 防 職 員 の 配 置 状 況

令和3年4月1日現在

所 属	階 級	合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員
合 計		115 (6)	1	3	9	28 (3)	22 (2)	19 (1)	32	1
消 防 本 部		16 (6)	1	2	2	7 (3)	3 (2)	0 (1)	0	1
二 戸 消 防 署		33		1	3	9	4	7	9	
	一 戸 分 署	19			1	3	4	4	7	
	軽 米 分 署	16			1	3	4	3	5	
	浄 法 寺 分 署	15			1	3	3	3	5	
	九 戸 分 署	16			1	3	4	2	6	

※ () 内は兼務職員数

階級別・年齢別職員数

令和3年4月1日現在

階級別 年齢別	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員 (再任用)	合計
20歳未満							5		5
21歳～25歳							15		15
26歳～30歳						12	12		24
31歳～35歳					7	7			14
36歳～40歳					9				9
41歳～45歳				8	6				14
46歳～50歳				15					15
51歳～55歳			6	5					11
56歳以上	1	3	3					1	8
人 員	1	3	9	28	22	19	32	1	115

在職年数別職員数

令和3年4月1日現在

区 分	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員 (再任用)	計
5年未満							13		13
5年～9年					1	6	19		26
10年～14年					5	13			18
15年～19年					9				9
20年～24年				4	7				11
25年～29年				18					18
30年～34年			5	6					11
35年以上	1	3	4					1	9
合 計	1	3	9	28	22	19	32	1	115

職員の資格取得状況

令和3年4月1日現在

免許等の区分		署分署別		消防本部	二戸消防署	一戸分署	軽米分署	浄法寺分署	九戸分署	計	
運転免許・整備	大型免許			13	26	15	11	9	12	86	
	中型免許				1		1		1	3	
	準中型免許	5t未満				2	3	1	2	1	9
		8t未満			2	1	1	1	2		7
	普通免許				3		2	2	2	9	
	大型特殊免許			2	4	5	4	3	2	20	
	けん引免許								1	1	
	自動二輪			1	6		3	2	2	14	
	小型車両系建設機械技能講習			6	6	5	2	1	3	23	
	自動車整備士	2級		1							1
予防・危険物	消防設備士	乙4類			1					1	
		乙6類	3	3	1		1			8	
	危険物取扱者	乙1類				1			1		2
		乙2類				1			2		3
		乙3類				2			2		4
		乙4類	2	8	4	7	7	6			34
		乙5類				1			1		2
		乙6類				1	2		2		5
	予防技術資格者	丙種	1	1		1		1	1		4
		査察	1	6	6	2	6	4			25
		設備等	2	3	2	1	3	1			12
無線	陸上特殊無線技士	危険物	1	1	2	2	2	2	1	9	
		2級	9	13	3	4	4	2		35	
救急・救助	救急救命士	3級	2	15	11	7	8	10		53	
		救急隊員資格者	3	11	6	4	5	5		34	
	墜落制止用器具特別教育	6	25	15	10	10	13			79	
	ガス・電気溶接	1	2		2					5	
	玉掛技能	11	12	5	3	3	6			40	
	移動式クレーン	11	13	5	3	3	5			40	
	小型船舶操縦士	7	6	1	1	1				16	
	有機溶接作業主任者	1								1	
	特定化学物質作業主任者	1	2	2		2				7	
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	8	7	3	3	1				22	
	着衣泳指導員		1			1				2	
その他	安全衛生推進者	2		1	1					4	
	甲種火薬類取扱保安責任者								1	1	

< 予 防 編 >

防火対象物の状況

令和3年3月31日現在

防火対象物の区分		署分署別	二 戸		一 戸 分 署	軽 米 分 署	浄 法 寺 署	九 戸 分 署	合 計
			消 防 署	署					
1	イ	劇場・映画館等	2		2	1		1	6
	ロ	公会堂・集会場	10		4	6	7	3	30
2	イ	キャバレー等							0
	ロ	遊技場等	3		1	1			5
	ハ	風俗営業等							0
	ニ	カラオケボックス等	1						1
3	イ	待合・料理店等							0
	ロ	飲食店	13		6	2		6	27
4		百貨店等	50		18	10	10	8	96
5	イ	旅館・ホテル等	17		3	3	4	3	30
	ロ	共同住宅等	166		64	16	1	5	252
6	イ	病院・診療所等	13		7	4	2		26
	ロ	養護老人ホーム等	21		22	5	4	4	56
	ハ	デイサービス等	23		34	8	7	5	77
	ニ	幼稚園等	3		6	1			10
7		学校等	46		34	18	4	19	121
8		図書館・博物館等	5		2	4	1	1	13
9	イ	蒸気・熱気浴場等							0
	ロ	イ以外の公衆浴場			3			1	4
10		車両の停車場	3		1				4
11		神社・寺院・教会	20		3	9	2	7	41
12	イ	工場・作業場	125		70	48	36	51	330
	ロ	テレビスタジオ等							0
13	イ	車庫・駐車場	9		13	8	4	7	41
	ロ	飛行機等格納庫							0
14		倉庫	103		72	41	35	32	283
15		前各項に該当しない事業場	378		407	493	154	561	1,993
16	イ	複合用途（特定）	70		33	16	8	18	145
	ロ	複合用途（非特定）	49		17	15	11	7	99
16の2		地下街							0
16の3		準地下街							0
17		重要文化財等	2		2	2	2		8
18		アーケード							0
合 計			1,132		824	711	292	739	3,698

署分署別建築同意状況

令和3年3月31日現在

署分署別 防火対象物の区分		計	二 消 防 戸 署	一 戸 分 署	軽 米 分 署	浄 法 寺 署	九 戸 分 署
1	イ	劇場・映画館等	0				
	ロ	公会堂・集会場	0				
2	イ	キャバレー等	0				
	ロ	遊技場等	1	1			
	ハ	風俗営業等	0				
	ニ	カラオケボックス等	0				
3	イ	待合・料理店等	0				
	ロ	飲食店	0				
4		百貨店等	2	1	1		
5	イ	旅館・ホテル等	1	1			
	ロ	共同住宅等	2	1			1
6	イ	病院・診療所等	4	3	1		
	ロ	養護老人ホーム等	3	1		1	
	ハ	デイサービス等	1	1			
	ニ	幼稚園等	1		1		
7		学校等	0				
8		図書館・博物館等	0				
9	イ	蒸気・熱気浴場等	0				
	ロ	イ以外の公衆浴場	0				
10		車両の停車場	0				
11		神社・寺院・教会	0				
12	イ	工場・作業場	4	4			
	ロ	テレビスタジオ等	0				
13	イ	車庫・駐車場	1			1	
	ロ	飛行機等格納庫	0				
14		倉庫	11		2	5	1
15		前各項に該当しない事業場	27	8	7	4	
16	イ	複合用途（特定）	4	1	1	2	
	ロ	複合用途（非特定）	2	1			1
16の2		地下街	0				
16の3		準地下街	0				
17		重要文化財等	0				
18		アーケード	0				
計			64	23	13	13	3
							12

（令別表対象外）

建築種別	新築	20	6	3	3	5	3
	増築	0					
	改築	0					
	その他	0					

中高層建築物の用途別の状況

令和3年3月31日

防火対象物の区分		階数別	計	階 数 別					
				3階	4階	5階	6階	7階	8階
1	イ	劇場・映画館等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂・集会場	3	2	1	0	0	0	0
2	イ	キャバレー等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場等	0	0	0	0	0	0	0
	ハ	風俗営業等	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	0	0	0	0	0	0	0
3	イ	待合・料理店等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	4	4	0	0	0	0	0
4		百貨店等	2	2	0	0	0	0	0
5	イ	旅館・ホテル等	4	1	0	2	1	0	0
	ロ	共同住宅等	54	37	10	6	0	1	0
6	イ	病院・診療所等	4	1	2	1	0	0	0
	ロ	養護老人ホーム等	8	7	1	0	0	0	0
	ハ	デイサービス等	2	1	1	0	0	0	0
	ニ	幼稚園等	0	0	0	0	0	0	0
7		学校等	28	25	3	0	0	0	0
8		図書館・博物館等	2	2	0	0	0	0	0
9	イ	蒸気・熱気浴場等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	イ以外の公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0
10		車両の停車場	1	1	0	0	0	0	0
11		神社・寺院・教会	0	0	0	0	0	0	0
12	イ	工場・作業場	11	8	3	0	0	0	0
	ロ	テレビスタジオ等	0	0	0	0	0	0	0
13	イ	車庫・駐車場	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飛行機等格納庫	0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	2	2	0	0	0	0	0
15		前各項に該当しない事業場	41	25	12	3	0	0	1
16	イ	複合用途（特定）	29	26	0	2	1	0	0
	ロ	複合用途（非特定）	10	9	1	0	0	0	0
16の2		地下街	0	0	0	0	0	0	0
16の3		準地下街	0	0	0	0	0	0	0
17		重要文化財等	0	0	0	0	0	0	0
18		アーケード	0	0	0	0	0	0	0
合計			205	153	34	14	2	1	1
市町村別	二	戸市	137	98	25	11	1	1	1
	一	戸町	35	29	2	3	1		
	軽	米町	20	15	5				
	九	戸村	13	11	2				

防火対象物定期点検報告制度の状況

令和3年3月31日現在

区分		市町村別				
		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
該当防火対象物数	収容人員該当 (特定300人)	27	14	7	2	50
	特定一階段該当	1				1
	合 計	28	14	7	2	51
点検報告済防火対象物数	収容人員該当 (特定300人)	16	11	4	1	32
	特定一階段該当	1				1
	合 計	17	11	4	1	33
特例認定済防火対象物	収容人員該当 (特定300人)	3		1	1	5
	特定一階段該当					0
	合 計	3	0	1	1	5

危険物施設の状況

令和3年 3月31日現在

区分		市町村別				合計
		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	
合計		157	86	62	46	348
製造所						
貯蔵所	屋内貯蔵所	3	5		2	10
	屋外タンク貯蔵所	8	5	4	6	23
	屋内タンク貯蔵所	1	1		1	3
	地下タンク貯蔵所	51	28	17	7	103
	簡易タンク貯蔵所					
	移動タンク貯蔵所	42	23	17	12	94
	屋外貯蔵所	1	1			2
	小計	109	63	38	28	235
取扱所	給油取扱所 () 自家用数	29 (12)	13 (4)	16 (6)	6 (1)	64 (23)
	販売取扱所					
	一般取扱所	19	10	8	12	49
	小計	48	23	24	18	113

自主防災組織の状況

令和3年3月31日現在

市町村別 区分		計		二戸市		一戸町		軽米町		九戸村	
		団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
合計		107	18,137	45	9,377	36	6,708	19	1,891	7	161
幼年 消防クラブ	幼稚園	0	0								
	保育園	6	196	1	11	2	55	1	47	2	83
	児童館	0	0								
	その他	3	233	1	156	1	42			1	35
	小計	9	429	2	167	3	97	1	47	3	118
少年 消防クラブ	小学校	5	64	1	8	2	33	1	10	1	13
	中学校	0	0								
	地区単位	0	0								
	その他	0	0								
	小計	5	64	1	8	2	33	1	10	1	13
婦人 防火クラブ	市街地	2	62	2	62						
	農山村地域	14	981	4	137	1	10	6	804	3	30
	その他	0	0								
	小計	16	1,043	6	199	1	10	6	804	3	30
自主 防災 組織	町内会 自治会	77	16,601	36	9,003	30	6,568	11	1,030		
	その他	0	0								
	小計	77	16,601	36	9,003	30	6,568	11	1,030	0	0

< 警 防 編 >

通 信 施 設 等 の 状 況

令和3年4月1日現在

通 信 施 設 等 名			計	設 置 場 所						
消 防 救 急 業 務 用 無 線 局	デ ジ タ ル	固定局（多重）	2	消防本部、折爪						
		基 地 局	基地局	1	折爪					
			簡易基地局	1	奥中山					
				計	消防本部	二戸消防署	一戸分署	軽米分署	浄法寺分署	九戸分署
	無 線	移 動 局	車 載 型	29	10	6	4	3	3	3
			卓 上 型	6	1	1	1	1	1	1
			可 搬 型	7	1	2	1	1	1	1
			携 帯 型	37	3	9	7	6	6	6
	受 令 機			8	3	1	1	1	1	1
	署活動系（400MHz帯）			115	17	33	19	16	14	16
防災相互波（150MHz帯）			2	2						
市 防 無	町 行 政 線	村 政 線	放 送 設 備 (サイレン吹鳴可)	5		1	1	1	1	1
報知専用電話回線（固定119番）			4	4						
"（携帯119番）			4	4						
一 般 加 入 電 話	電 話 回 線 数		61	28	9	6	6	6	6	
	うちFAX回線		9	4	1	1	1	1	1	
	内 線 数	庁 舎 分	93	30	27	9	9	9	9	
		構 内 P H S	8	4	4					
直 通 電 話	回 線 数	市 役 所 ・ 役 場	4		1		1	1	1	
		東日本高速道路	1	1						
携 帯 電 話	携 帯 電 話 数		15	2	5	2	2	2	2	
	うち救急車積載携帯電話		5		1	1	1	1	1	
衛 星 携 帯 電 話	衛 星 携 帯 電 話 数		19	5	2	3	3	3	3	
	うち救急車積載携帯電話		5		1	1	1	1	1	
庁 内 放 送 装 置			5		1	1	1	1	1	

消防車両等の現有状況

令和3年4月1現在

	車両名	車両番号	車名	登録年月	登録年月日	経過	定員	排気量	機装業者名	無線名称	備考
本部	連絡車	岩手330 す1906	スバル XV	R 1. 6	R1. 6. 28	1年9ヵ月	5	1,590			
	司令車	岩手800 す2258	トヨタ カルディナ	H19. 3	H19. 3. 1	14年1ヵ月	5	1,990		二戸司令1	
	人員輸送車	岩手800 す7730	トヨタ ハイエース	H24. 12	H24. 12. 20	8年3ヵ月	14	2,690		二戸輸送1	
	水槽付消防ポンプ自動車	岩手800 は・208	日野 レンジャー	H12. 1	H12. 1. 25	21年2ヵ月	6	7,960	日本機械	二戸タンク2	水2,000ℓ (予備車)
	屈折梯子車	岩手88 ゆ1370	日野 レンジャー	H 8. 3	H8. 3. 1	25年1ヵ月	6	7,960	日本機械	二戸はしご1	20m級
	救助工作車	岩手830 さ1312	日野 レンジャー	H25. 12	H25. 12. 16	7年3ヵ月	6	6,400	テイセン	二戸救助1	II型、4WD
	資機材搬送車	岩手800 さ3383	いすゞ エルフ	H12. 5	H12. 5. 23	20年10ヵ月	3	4,980		二戸搬送1	4WD パワーゲート
	無線中継車	岩手800 す9898	トヨタ ハイエース	H27. 8	H27. 8. 28	5年7ヵ月	5	2,690	オートワークス 京都	二戸指揮1	4WD
	消防ポンプ付大型水槽車	岩手830 さ1803	日野 プロフィア	H30. 3	H30. 3. 20	3年0ヵ月	3	8,860	日本機械	二戸水槽	水10,000ℓ 後輪2軸駆動
	高規格救急自動車	岩手830 ふ・119	トヨタ グランビア	H16. 12	H16. 12. 9	16年3ヵ月	7	3,370	テクノクラクト	二戸救急2	4WD、4WS (予備車)
二戸消防署	指揮車	岩手830 さ1909	トヨタ ランドクルーザー	R 1. 9	R1. 9. 19	1年6ヵ月	5	2,690		二戸広報1	4WD
	水槽付消防ポンプ自動車	岩手830 さ1303	日野 レンジャー	H25. 3	H25. 3. 27	8年0ヵ月	6	6,400	日本機械	二戸タンク1	水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	消防ポンプ自動車	岩手830 さ1902	日野 デュトロ	H31. 2	H31. 2. 26	2年1ヵ月	5	4,000	日本機械	二戸ポンプ1	4WD 梯子昇降装置、ホースカー、水槽付 (水800ℓ)
	高規格救急自動車	岩手830 さ1710	トヨタ ハイエース	H29. 10	H29. 10. 3	3年5ヵ月	7	2,690	テクノクラクト	二戸救急1	4WD ハイメディック
	資機材搬送車	岩手830 さ・711	トヨタ ハイエース	H 19. 11	H19. 11. 27	13年4ヵ月	7	2,690		二戸搬送2	4WD
	連絡車	岩手580 よ・421	ホンダ バモスホビオ	H28. 1	H28. 1. 13	5年2ヵ月	4	650			4WD
一戸分署	広報車	岩手800 す2726	日産 エクストレイル	H19. 9	H19. 9. 1	13年7ヵ月	5	1,990		一戸広報1	4WD
	水槽付消防ポンプ自動車	岩手830 さ1912	日野 レンジャー	R 1. 12	R1. 12. 18	1年3ヵ月	6	5,120	日本機械	一戸タンク1	水2,000ℓ A-2 4WD
	消防ポンプ自動車	岩手800 さ4403	三菱 キャンター	H13. 1	H13. 1. 1	20年3ヵ月	6	5,240	日本機械	一戸ポンプ1	4WD
	高規格救急自動車	岩手830 す1311	トヨタ ハイエース	H25. 11	H25. 11. 18	7年4ヵ月	7	2,690	テクノクラクト	一戸救急1	4WD ハイメディック 緊急消防援助隊登録車両
軽米分署	広報車	岩手800 す3544	日産 エクストレイル	H20. 7	H20. 7. 1	12年9ヵ月	5	2,480		軽米広報1	4WD
	水槽付消防ポンプ自動車	岩手830 す1311	日野 レンジャー	H25. 11	H25. 11. 18	7年4ヵ月	6	6,400	日本機械	軽米タンク1	水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	高規格救急自動車	岩手830 す1601	トヨタ ハイエース	H28. 1	H28. 1. 27	5年2ヵ月	7	2,690	テクノクラクト	軽米救急1	4WD ハイメディック
浄法寺分署	広報車	岩手800 す4376	日産 エクストレイル	H21. 8	H21. 8. 1	11年8ヵ月	5	2,480		浄法寺広報1	4WD
	水槽付消防ポンプ自動車	岩手830 さ1611	日野 レンジャー	H28. 11	H28. 11. 18	4年4ヵ月	6	6,400	日本機械	浄法寺タンク1	水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	高規格救急自動車	岩手830 す1501	トヨタ ハイエース	H27. 1	H27. 1. 21	6年2ヵ月	7	2,690	テクノクラクト	浄法寺救急1	4WD ハイメディック
九戸分署	広報車	岩手830 さ1711	トヨタ ランドクルーザー	H29. 11	H29. 11. 28	3年4ヵ月	5	2,690		九戸広報1	4WD
	水槽付消防ポンプ自動車	岩手830 せ1602	日野 レンジャー	H28. 2	H28. 2. 25	5年1ヵ月	6	6,400	日本機械	九戸タンク1	水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	高規格救急自動車	岩手830 さ1609	トヨタ ハイエース	H28. 9	H28. 9. 23	4年6ヵ月	7	2,690	テクノクラクト	九戸救急1	4WD ハイメディック

火災による損害状況

令和2年中

区分 市町村	出火件数		焼損面積		損害額（建物）			損害額（林野）
	件数	出火率	建物焼損 床面積	林野焼損 面積	総額 （千円）	一件当り （千円）	1世帯当り （円）	総額（千円）
令和2年	28	5.3	933	1	24,715	882.7	1,056.5	0
二戸市	11	4.2	355	1	14,313	1,301.2	1,212.7	0
一戸町	8	6.6	471	0	8,929	1,116.1	1,581.8	0
軽米町	3	3.4	18	0	15	5.0	4.0	0
九戸村	6	10.6	89	0	1,458	243.0	670.0	0
令和元年	31	5.7	1,388	88	26,312	848.8	1,120.1	0
平成30年	29	5.4	6,627	412	267,334	9,218.4	11,455.9	2,068
平成29年	26	4.8	1,473	21	78,468	2,545.1	2,835.7	86
平成28年	21	3.8	1,161	90	18,898	1,889.8	808.5	2,694
平成27年	46	8.1	4,642	90	235,240	5,113.9	9,995.3	0
平成26年	35	5.9	2,471	146	51,664	1,476.1	2,190.3	1,636
平成25年	36	6.0	3,441	131	84,945	2,359.6	3,601.2	0
平成24年	30	5.0	2,764	286	68,335	2,277.8	2,904.2	3,241
平成23年	25	4.0	1,894	61	55,609	2,224.4	2,376.4	0
年平均	30.7	5.4	2,679.4	132.6	91,152	3,061.9	4,075.6	972.5

災害通報等受付件数

令和2年中

内訳 覚知別	火災	救急	救助	その他災害	誤報	通報訓練	その他	計
119番専用 電話（固定）	9	1,309	16	55	68	303	274	2,034
119番専用 電話（携帯）	14	559	27	9	53	11	128	801
一般加入電話	4	179	2	20	0	0	1	206
警察電話	0	14	9	2	0	0	0	25
駆けつけ通報	0	40	0	0	1	0	32	73
事後覚知	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	18	1	23	0	0	0	42
計	27	2,119	55	109	122	314	435	3,181

※ 災害通報等受付件数は、実災害件数とは異なります。

時間別火災発生状況

令和2年中

区分 出火時間別	市 町 村 別 出 火 件 数					損 害 額 (千円)
	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村		
計	28	11	8	3	6	24,717
0～2	1				1	0
2～4	2	1	1			9,459
4～6	1			1		0
6～8	2	1	1			7,594
8～10	1				1	0
10～12	8	6			2	4,436
12～14	4		2		2	2,918
14～16	2			2		15
16～18	2		2			143
18～20	2	2				0
20～22	1	1				152
22～24	2		2			0
不 明	0					

曜日別火災発生状況

令和2年中

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	不明
計	4	3	3	6	3	7	2	0
0～2							1	
2～4					2			
4～6		1						
6～8						2		
8～10		1						
10～12	2		2	2		2		
12～14		1	1	1		1		
14～16	1				1			
16～18				2				
18～20						1	1	
20～22				1				
22～24	1					1		
不 明								

焼損面積300平方メートル以上の建物火災状況（過去10年間）

年別	出火日時	出火場所	出火建物用途	出火原因	焼損棟数	焼損面積(m ²)	損害額(千円)
令和2年	7月3日 7時10分	一戸町	一般倉庫	不明	2	423	7,172
令和元年	3月10日 1時30分	九戸村	住宅	反射式ストーブに、付近にあった紙製の可燃物が落下または移動して接触したことにより出火したものと推定する。	4	340	10,255
	5月23日 10時20分	二戸市 (浄法寺町)	住宅	不明	4	331	1,632
	11月22日 9時00分	一戸町	住宅	煙突から火の粉が藁に飛び火し着火したものと推定。	5	414	3,669
平成30年	1月23日 3時40分	一戸町	納屋	木箱の中で燐炭が再燃し着火。そこから建物へ延焼拡大したものと推定。	5	397	3,607
	6月26日 13時20分	二戸市	物置	木の枝などのゴミを焼却中に、行為者がその場を離れたうちに延焼拡大したものと推定。	7	730	8,573
	7月3日 15時40分	二戸市	住宅	配線器具の短絡によって生じた銅粒状の短絡痕が段ボール箱に落下することで着火。そこから周囲の可燃物へ延焼拡大したものの。	5	458	7,467
	7月7日 14時00分	軽米町	住宅	取灰の余熱で周囲の可燃物に着火し、その炎が延焼拡大したものの。	2	602	18,770
	7月16日 1時30分	九戸村	住宅	使用したマッチを完全に消火しないで捨てたため、周囲にあった燃焼物へ着火し、また扇風機の風の力を受け延焼拡大したものの。	1	336	11,511
	10月5日 15時15分	九戸村	養鶏舎	絶縁性能が低下した配線が異極間で短絡。それにより、付近のほこりや壁面の柱に着火し、延焼拡大したものと推定。	1	513	5,136
平成29年	4月2日 17時30分	一戸町	住宅	仏壇供養の際に使用した、ロウソクの炎が不祝儀袋等に着火し、建物全体へ延焼拡大した。	3	340	21,589
平成28年	1月12日 15時55分	一戸町	養畜舎	ガスストーブが建物北側に倒れ、炎が扉に着火。扉に着火した炎が延焼拡大したものの。	1	497	6,655
平成27年	3月13日 6時15分	軽米町	養畜舎	不明	2	1,064	102,676
	5月8日 15時20分	軽米町	物置	建物の所有者が自ら施工した屋外配線が経年劣化により短絡し、それによって生じた火花から出火及び延焼拡大したものの。	5	500	3,202
	6月25日 23時20分	九戸村	店舗併用住宅	不明	2	461	66,049
平成26年	12月15日 4時00分	一戸町	作業場	電源コード等の劣化による無炎燃焼から有炎燃焼へ移行したものの。	1	391	7,269
平成25年	1月10日 15時30分	一戸町	店舗併用住宅	薪ストーブの取り灰を放置した。	4	593	35,590
	1月21日 16時40分	九戸村	作業場併用住宅	火鉢の炭火がはね、ソファーに着火した。	1	578	6,284
	1月30日 17時00分	二戸市	住宅	不明	1	335	7,309
	5月22日 16時15分	軽米町	おがくず倉庫	ごみ焼きから飛火し、建物へ延焼拡大した。	4	501	7,719
平成24年	1月24日 10時00分	二戸市 (浄法寺町)	住宅	薪ストーブの煙突貫通部の低温発火により、貫通部木枠に着火した。	1	320	19,085
	8月5日 14時45分	一戸町	炭小屋	炭窯の排煙口からの火炎を受けたベニヤ板に着火し、延焼拡大した。	3	453	3,244
	10月11日 5時30分	一戸町	パーク倉庫	照明用配線の折れ曲がり箇所、電線被覆が短絡し、パークに着火した。	1	646	16,014
	10月19日 17時15分	二戸市 (浄法寺町)	堆肥舎	鶏糞の発酵発熱により発火した。	1	716	12,703
平成23年	4月20日 7時00分	二戸市 (浄法寺町)	物置小屋	薪ストーブの焚き口から火がこぼれ、周囲にあった薪等に着火延焼した。	4	497	14,769
	7月2日 3時00分	一戸町	作業場	不明	4	461	9,563

焼損面積100アール以上の林野火災状況（過去10年間）

平成23年～令和2年

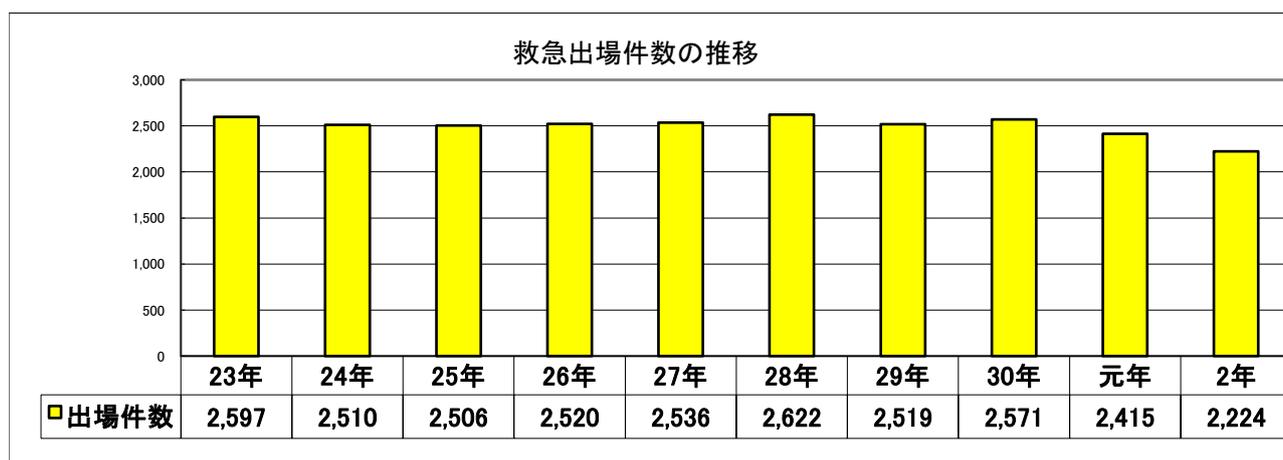
年別	出火日時	出火場所	気象状況				出火原因	焼失面積 (a)	損害額 (千円)
			天候	風向	風速 (m/s)	湿度 (%)			
令和2年中は該当する林野火災はなし									
令和元年中は該当する林野火災はなし									
平成30年	5月16日 10時00分	一戸町宇別字 中村48-9	曇	南西	1	44	町道から投げ捨てられたたばこから延焼拡大したものと推定。	412	2,068
平成29年中は該当する林野火災はなし									
平成28年中は該当する林野火災はなし									
平成27年中は該当する林野火災はなし									
平成26年中は該当する林野火災はなし									
平成25年中は該当する林野火災はなし									
平成24年	4月30日 14時40分	二戸市石切所字 上里沢150-2	晴	南南西	3	11	剪定した木の枝を焼却中、付近の枯れ草に燃え移り延焼拡大した	270	3,241
平成23年中は該当する林野火災はなし									

< 救 急 編 >

年別救急出動状況（過去10年間）

各年1月～12月

種 別 年別	合 計	事 故 種 別													
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他
令和2年	2,224	9	0	3	95	20	7	279	2	12	1,564	226	0	0	7
令和元年	2,415	1	0	0	143	21	12	319	4	16	1,634	255	0	0	10
平成30年	2,571	10	0	1	138	46	6	333	6	21	1,710	290	1	0	9
平成29年	2,519	15	0	0	145	27	14	327	7	35	1,675	261	0	0	13
平成28年	2,622	6	5	2	142	25	18	349	12	25	1,754	271	0	0	13
平成27年	2,536	10	0	4	143	27	5	329	3	29	1,692	283	0	0	11
平成26年	2,520	5	1	0	128	14	13	315	4	29	1,702	297	0	0	12
平成25年	2,506	10	5	4	135	26	8	324	11	42	1,628	299	1	0	13
平成24年	2,510	8	0	1	141	11	7	282	7	33	1,678	332	2	1	7
平成23年	2,597	10	6	1	131	17	14	336	1	36	1,701	332	0	0	12



月別救急出動状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

種別 月	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
1月	5	0	0	4	1	1	24	0	0	153	11	199
2月	1	0	1	7	3	1	20	0	1	124	15	173
3月	0	0	0	6	3	0	22	0	3	120	20	174
4月	2	0	0	3	0	0	21	1	0	109	18	154
5月	0	0	0	9	1	0	17	0	1	129	26	183
6月	0	0	0	9	4	1	19	0	1	114	19	167
7月	1	0	0	8	0	2	21	0	1	128	26	187
8月	0	0	0	15	0	0	44	1	1	155	17	233
9月	0	0	1	5	1	1	22	0	0	106	20	156
10月	0	0	0	10	0	1	22	0	0	138	21	192
11月	0	0	1	15	4	0	18	0	2	132	20	192
12月	0	0	0	4	3	0	29	0	2	156	20	214
計	9	0	3	95	20	7	279	2	12	1,564	233	2,224

曜日別救急出動状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

種別 曜日	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
月曜日	1	0	0	12	6	0	41	0	1	252	42	355
火曜日	0	0	0	23	2	1	46	0	2	236	32	342
水曜日	1	0	0	16	1	0	38	0	1	215	51	323
木曜日	2	0	0	18	7	0	30	0	2	197	33	289
金曜日	4	0	2	11	2	2	30	1	0	225	48	325
土曜日	0	0	1	9	1	1	46	0	2	217	18	295
日曜日	1	0	0	6	1	3	48	1	4	222	9	295
計	9	0	3	95	20	7	279	2	12	1,564	233	2,224

年代別搬送人員状況

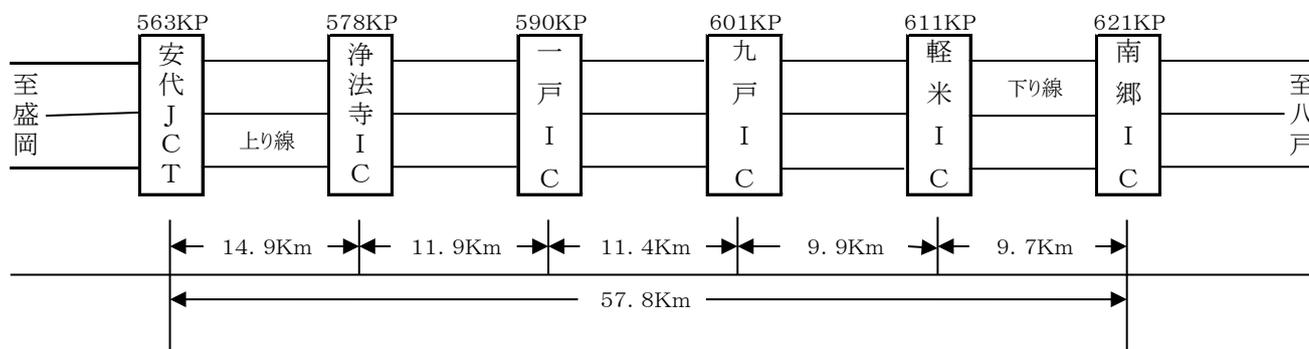
令和2年1月1日～令和2年12月31日

年齢区分	事故種類	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
	傷病程度												
新生児	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中等症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	軽症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
乳幼児	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	中等症	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	4
	軽症	0	0	0	0	0	0	3	0	0	8	1	12
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	1	0	0	3	0	0	9	4	17
少年	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中等症	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3	0	6
	軽症	0	0	0	3	0	5	1	0	0	11	0	20
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	3	0	7	2	0	0	14	0	26
成人	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
	重症	1	0	0	0	3	0	4	0	0	33	26	67
	中等症	1	0	0	7	6	0	7	0	2	62	29	114
	軽症	0	0	0	38	7	0	35	1	0	217	7	305
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2	0	0	45	16	0	46	1	2	317	62	491
老人	死亡	0	0	1	1	1	0	10	0	0	64	1	78
	重症	2	0	0	3	1	0	23	0	0	232	51	312
	中等症	1	0	0	8	2	0	71	0	1	398	89	570
	軽症	0	0	0	22	0	0	119	0	1	426	18	586
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
	小計	3	0	1	34	4	0	223	0	2	1,123	159	1,549
合計	死亡	0	0	1	1	1	0	10	0	0	69	1	83
	重症	3	0	0	3	4	0	27	0	0	265	78	380
	中等症	2	0	0	16	8	2	79	0	3	464	121	695
	軽症	0	0	0	63	7	5	158	1	1	662	26	923
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
	小計	5	0	1	83	20	7	274	1	4	1,463	226	2,084

管轄する高速自動車道の概要

八戸自動車道 安代JCT～南郷IC間(563kp～621kp) 上・下線

* 供用開始 一戸IC～八戸IC間 昭和61年11月27日
 一戸IC～安代JCT間 平成元年 9月 7日



高速自動車道における事故等の発生状況

令和2年中

NO	区分	月 日	覚知時間	事故発生場所	出場車両	事故等の概要
1	救急	2月1日	6:45	折爪サービスエリア(上り)	軽米救急	駐車場で仮眠をとっており、目が覚めてトイレに行く際、めまいがして立って歩けなくなったため救急要請したもの。
2	その他	2月20日	9:17	折爪サービスエリア(上り)付近	軽米救急 二戸救助	八戸自動車道上り線を八戸から仙台方面に走行中、突然のめまいと嘔気がしたため救急要請したもの。
3	その他	3月30日	12:52	折爪サービスエリア内(上り)	軽米救急 軽米タンク 二戸救助	八戸自動車道上り線折爪サービスエリアにて、車内で練炭自殺をした傷病者を巡回していた警察官が発見したもの。不搬送。
4	その他	6月24日	17:44	八戸自動車道上り線565kp付近	浄法寺救急 浄法寺タンク 二戸救助	八戸自動車道上り線を走行中に、急に具合が悪くなり運転操作を誤った普通乗用車の単独事故。警ら中の高速機動隊により覚知、救急要請したもの。
5	その他	10月20日	15:48	八戸自動車道上り線565.6kp付近	浄法寺救急 浄法寺タンク 二戸救助	八戸自動車道上り線を250ccのバイクで走行中、路面の凹凸にバランスを崩し、転倒した単独事故。事故現場を通りかかった者が救急要請したもの。

高速自動車道における救急活動状況（過去10年間）

平成23年～令和2年

年 度 別	種 別	交 通	急 病	一般負傷	その他	計
令 和 2 年	出 場 件 数	2	2	0	1	5
	搬 送 件 数	2	2	0	0	4
	搬 送 人 員	2	2	0	0	4
令 和 元 年	出 場 件 数	3	2	1	0	6
	搬 送 件 数	3	2	1	0	6
	搬 送 人 員	3	2	1	0	6
平 成 30 年	出 場 件 数	5	1	0	0	6
	搬 送 件 数	3	1	0	0	4
	搬 送 人 員	3	1	0	0	4
平 成 29 年	出 場 件 数	17	3	0	1	21
	搬 送 件 数	11	3	0	0	14
	搬 送 人 員	13	3	0	0	16
平 成 28 年	出 場 件 数	6	2	0	0	8
	搬 送 件 数	3	1	0	0	4
	搬 送 人 員	3	1	0	0	4
平 成 27 年	出 場 件 数	7	2	0	0	9
	搬 送 件 数	5	1	0	0	6
	搬 送 人 員	7	1	0	0	8
平 成 26 年	出 場 件 数	8	4	0	0	12
	搬 送 件 数	7	3	0	0	10
	搬 送 人 員	8	3	0	0	11
平 成 25 年	出 場 件 数	13	4	1	1	19
	搬 送 件 数	6	4	1	1	12
	搬 送 人 員	6	4	1	1	12
平 成 24 年	出 場 件 数	6	5	0	1	12
	搬 送 件 数	5	5	0	0	10
	搬 送 人 員	5	5	0	0	10
平 成 23 年	出 場 件 数	11	6	0	1	18
	搬 送 件 数	7	6	0	0	13
	搬 送 人 員	9	6	0	0	15

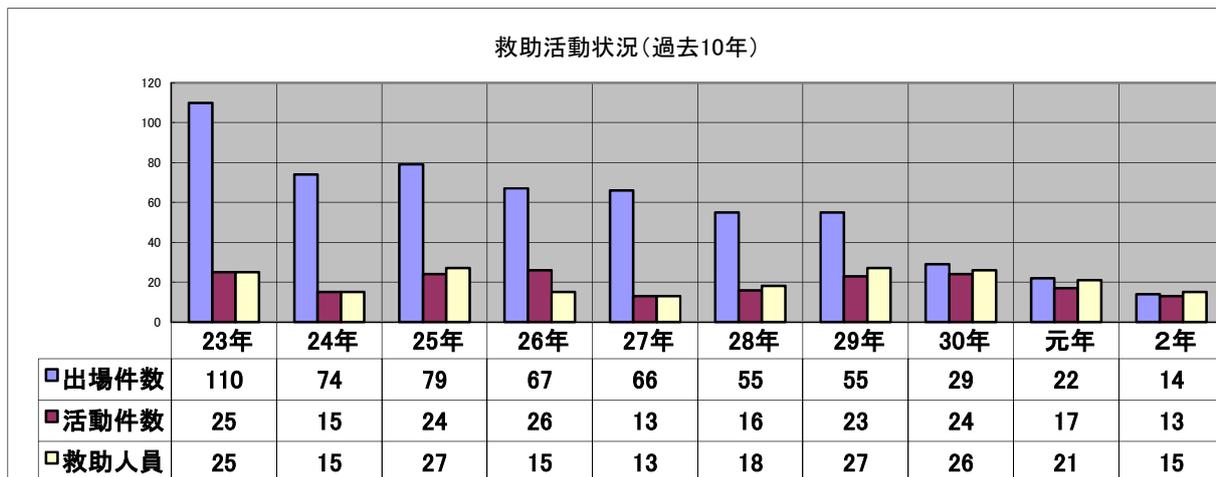
※ 八戸自動車道供用開始 八戸 I C～一戸 I C間 昭和61年11月27日
 安代 J C T～一戸 I C間 平成元年9月7日

< 救 助 編 >

救助年別活動状況（過去10年間）

各年1月～12月

年別	事故種別 区分	計	火災		交通事故	水難事故	自然災害等	風災害等	機械による事故	よ建る物事等に	酸ガス事及び	破裂事故	その他の事故
			建物	建物以外									
令和2年	出場件数	14	3		5	3							3
	活動件数	13	3		5	2							3
	救助人員	15	4		6	2							3
令和元年	出場件数	22	2		14	1			2	1			2
	活動件数	17	2		10	1			1	1			2
	救助人員	21	2		14	1			1	1			2
平成30年	出場件数	29	2		15		1		1	4			6
	活動件数	24	2		12		1			3			6
	救助人員	26	2		13		5			2			4
平成29年	出場件数	55	3		35				7				10
	活動件数	24	3		10				4				7
	救助人員	27	3		12				4				8
平成28年	出場件数	55			42	2	5		4				2
	活動件数	16			9		5		1				1
	救助人員	18			9		7		1				1
平成27年	出場件数	66			51	4			3		1		7
	活動件数	13			7	2			1				3
	救助人員	13			7	2			1				3
平成26年	出場件数	67	10	4	42			3		2			6
	活動件数	26	10	4	6			2					4
	救助人員	15	2		7			2					4
平成25年	出場件数	79			63	5	1		1	1	1		7
	活動件数	24			15	6				1	1		1
	救助人員	27			11	7					8		1
平成24年	出場件数	74	3	1	61	1	2			2			4
	活動件数	15	3	1	6	1				2			2
	救助人員	15			10	1				2			2
平成23年	出場件数	110	13	12	63	1	6		2	2			11
	活動件数	25			12	1	4		1	1			6
	救助人員	25			10	1	8		1	1			4



署・分署別救助活動状況

令和2年中

事故種別 署分署別		計	火災		交通事故	水難事故	自風 然水 災害等	機 械 に よ る 故	建 物 等 に よ る 故	酸ガ ス 事 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外								
計	出場件数	14	3	0	5	3	0	0	0	0	0	3
	活動件数	13	3	0	5	2	0	0	0	0	0	3
	救助人員	15	4	0	6	2	0	0	0	0	0	3
二戸 消 防 署	出場件数	5	2		2	1						
	活動件数	5	2		2	1						
	救助人員	7	3		3	1						
一戸 分 署	出場件数	4	1		1	1						1
	活動件数	3	1		1	0						1
	救助人員	3	1		1	0						1
軽 米 分 署	出場件数	1										1
	活動件数	1										1
	救助人員	1										1
浄 法 寺 分 署	出場件数	1										1
	活動件数	1										1
	救助人員	1										1
九 戸 分 署	出場件数	3			2	1						
	活動件数	3			2	1						
	救助人員	3			2	1						

事故発生場所別救助状況

令和2年中

事故発生場所		事故種別	計	火災		交通事故	水難事故	自然災害等	機械による事故	よ建物等に	酸ガス及び	破裂事故	その他の事故	
				建物	建物以外									
計		出場件数	14	3		5	3						3	
		活動件数	13	3		5	2							3
		救助人員	15	4		6	2							3
屋 内	住居	出場件数	3	3										
		活動件数	3	3										
		救助人員	4	4										
	その他の屋内	出場件数	1											1
		活動件数	1											1
		救助人員	1											1
屋 外	道	高速自動車道	出場件数	0										
			活動件数	0										
			救助人員	0										
	路	その他の路	出場件数	5			5							
			活動件数	5			5							
			救助人員	6			6							
	水 面	内水面	出場件数	3				3						
			活動件数	2				2						
			救助人員	2				2						
		外水面	出場件数	0										
			活動件数	0										
			救助人員	0										
山 岳	山岳	出場件数	0											
		活動件数	0											
		救助人員	0											
	その他の屋外	出場件数	2											2
		活動件数	2											2
		救助人員	2											2
地 下	出場件数	0												
	活動件数	0												
	救助人員	0												
そ の 他	出場件数	0												
	活動件数	0												
	救助人員	0												

署・分署別救助出動人員状況

令和2年中

事故種別 署分署別		計	火災		交通事故	水難事故	自然災害等	風害等	機械による事故	建物等による事故	ガス欠事故及び	破裂事故	その他の事故
			建物	建物以外									
計	救助隊	43	9	0	17	10	0	0	0	0	0	0	7
	消防隊	52	22	0	11	12	0	0	0	0	0	0	7
	救急隊	61	15	0	24	13	0	0	0	0	0	0	9
二戸消防署	救助隊	15	6		6	3							
	消防隊	23	14		3	6							
	救急隊	30	12		15	3							
一戸分署	救助隊	13	3		4	3							3
	消防隊	13	8		2	0							3
	救急隊	12	3		3	3							3
軽米分署	救助隊	0											0
	消防隊	2											2
	救急隊	3											3
浄法寺分署	救助隊	4											4
	消防隊	2											2
	救急隊	3											3
九戸分署	救助隊	11			7	4							
	消防隊	12			6	6							
	救急隊	13			6	7							

※各分署の救助隊にあつては二戸救助隊のものである。

署・分署別救助活動人員状況

令和2年中

事故種別 署分署別		計	火災		交通事故	水難事故	自然災害等	風水災害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
			建物	建物以外									
計	救助隊	30	3	0	13	7	0	0	0	0	0	0	7
	消防隊	39	12	0	8	12	0	0	0	0	0	0	7
	救急隊	37	0	0	18	10	0	0	0	0	0	0	9
二戸消防署	救助隊	12	3		6	3							
	消防隊	13	7		0	6							
	救急隊	12	0		9	3							
一戸分署	救助隊	3	0		0	0							3
	消防隊	10	5		2	0							3
	救急隊	6	0		3	0							3
軽米分署	救助隊	0											0
	消防隊	2											2
	救急隊	3											3
浄法寺分署	救助隊	4											4
	消防隊	2											2
	救急隊	3											3
九戸分署	救助隊	11			7	4							
	消防隊	12			6	6							
	救急隊	13			6	7							

※各分署の救助隊にあつては二戸救助隊のものである。